

## ■ II. 実施計画の検討 ■

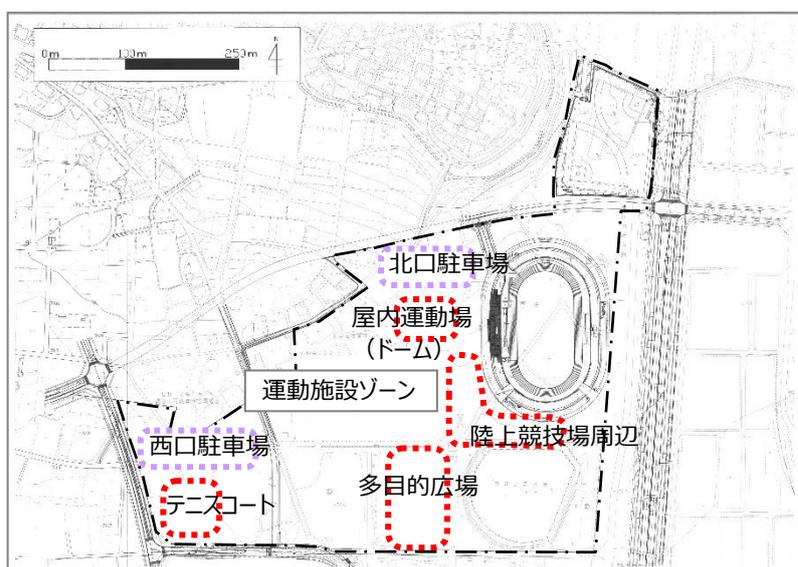


# 1. 施設配置計画

## 1-1 施設配置計画の基本方針の検討

### (1) 各施設の配置方針

施設配置計画については、基本計画で検討した施設配置ケーススタディB案に基づき、屋内運動場（ドーム）、多目的広場、テニスコート、陸上競技場周辺の他、北口と西口に駐車場を配置する。



各施設の配置方針図

## (2) 各施設における運動施設の導入方針

各施設における運動施設については、現状及び関係者ヒアリングの結果などから、以下のような方針で導入する。

### ① 屋内運動場（ドーム）

運動内容	現 状	関係者ヒアリング結果	運動施設の導入方針
野球練習 (室内)	－	【読谷村ソフトボール協会】 ●ドームは雨天時の開会式や、ソフトボール教室で利用したい。 【少年野球読谷支部】 ●ドームで試合ができるのであれば使いたい。 ●練習で活用したい。	●野球の室内練習が可能な広さをアリーナで確保
屋内トレーニング	●読谷村トレーニング室 (300㎡)	－	●トレーニング室の機能を、ドームへ移転
屋内サッカー	－	【読谷村サッカー協会】 ●ドーム内ではフットサル希望	●フットサルコート2面のスペースをアリーナで確保
屋内ゲートボール	－	【読谷村ゲートボール協会】 ●2面あれば助かるが、4面あれば十分に大会が開催可能 【読谷村老人クラブ連合会】 ●4面とれると助かる。	●ゲートボール4面分のスペースをアリーナで確保

### ② 多目的広場

運動内容	現 状	関係者ヒアリング結果	運動施設の導入方針
サッカー	●読谷村多目的広場 (1面)	【読谷村サッカー協会】 ●120m(最低115m)×68mのサッカー場(周囲5m) ●観客席、緑地帯	●120m×70mの人工芝グラウンドを確保 ●屋根付きベンチ及び倉庫を設置
ラグビー	同上	【読谷村ラグビー協会】 ●120m×70m(周囲5m) ●着替えできるクラブハウス、ベンチ、スタンド、得点版	同上

③ テニスコート

運動内容	現 状	関係者ヒアリング結果	運動施設の導入方針
テニス	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 読谷村テニスコート (2面)</li> <li>● 残波岬テニスコート (3面)</li> </ul>	<p>【読谷村体育協会（硬式テニス）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 大会を運営するには、8面欲しい。</li> <li>● 舗装は砂入り人工芝コート（軟式・硬式共有利用するため）</li> <li>● ナイター設備は必須</li> </ul> <p>【読谷村体育協会（軟式テニス）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 8面あれば大会を誘致できる。</li> <li>● 舗装はすべて砂入り人工芝コート（クレーコートは管理が難しい）</li> <li>● 大会等の受付、倉庫、トイレのあるクラブハウス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 8面を確保</li> <li>● 屋根付きベンチ及びトイレを設置</li> </ul>

④ 冬季キャンプ施設

運動内容	現 状	関係者ヒアリング結果	運動施設の導入方針
野球	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 仮設の冬季室内運動場に対応（ブルペン、室内フリー打撃）</li> </ul>	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 仮設のブルペンを残し、読谷村トレーニング室を冬季室内練習場として活用</li> <li>● 室内フリー打撃の機能を屋内運動場（ドーム）へ移転</li> </ul>

⑤ 駐車場

- ・現 状：中央駐車場（約 530 台）
- ・計画方針：中央駐車場 530 台、北口駐車場約 260 台、西口駐車場約 210 台  
（合計 1,000 台程度を予定する）

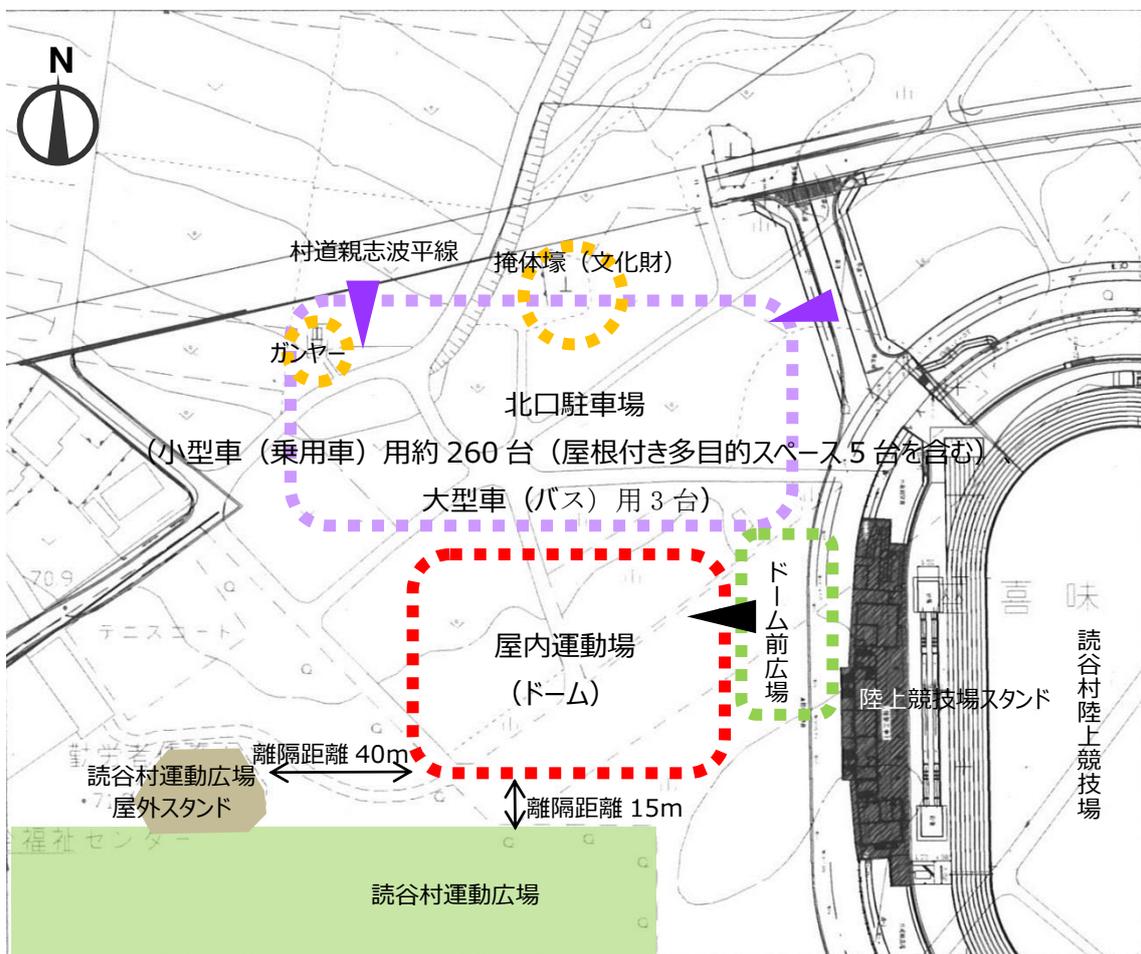
## 1-2 屋内運動場(ドーム)及び北口駐車場計画

屋内運動場（ドーム）は、読谷村運動広場の北側、読谷村陸上競技場の西側に配置する。ただし、大規模建築物が周囲に与える圧迫感に配慮して、読谷村運動広場から 15m、同屋外スタンドからは 40mの離隔距離をとる。

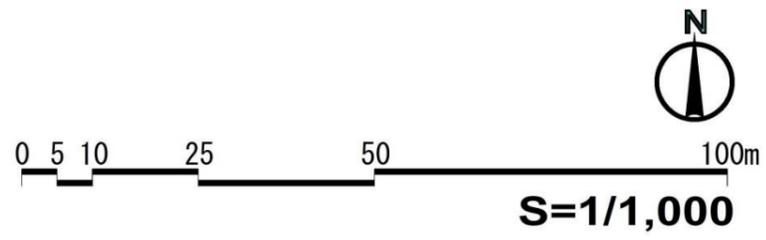
屋内運動場（ドーム）のエントランスは、読谷村陸上競技場スタンドのエントランスと対面する位置付近に設け、間の空間にドーム前広場を配置する。

北口駐車場は、村道親志波平線と陸上競技場北西側の園内道路からアプローチし、掩体壕やガンヤーといった歴史的文化財を避けつつ、小型車（乗用車）用約 260 台（屋根付き多目的スペース 5 台を含む）と大型車（バス）用 3 台分の駐車場を確保する。

また、ドーム前広場及び周辺において、ボルダリングやバスケットボールコートの新設を検討する。



屋内運動場（ドーム）及び北口駐車場 計画方針図



屋内運動場 (ドーム) 及び北口駐車場 配置計画図



### 1-3 多目的広場及び陸上競技場周辺計画

サッカー・ラグビーコート、120m×70mのピッチ周囲に幅5mの余裕を持たせた空間として、人工芝で舗装する。そのスペースを確保するため、既存の読谷村多目的広場を南北に拡大する。

南側：現在の植栽帯を削減し、サッカー・ラグビーコート用地にする。

そのため、既存の照明柱を1本撤去する。

北側：現在の園路を削減し、サッカー・ラグビーコート用地にする。

そのため、既存の照明柱を2本撤去する。

園路幅は現況の6mを確保するため、読谷村運動広場との間にある植栽帯を削減する。

また、運動広場の既存倉庫は、既存トイレの北側へ移設する。

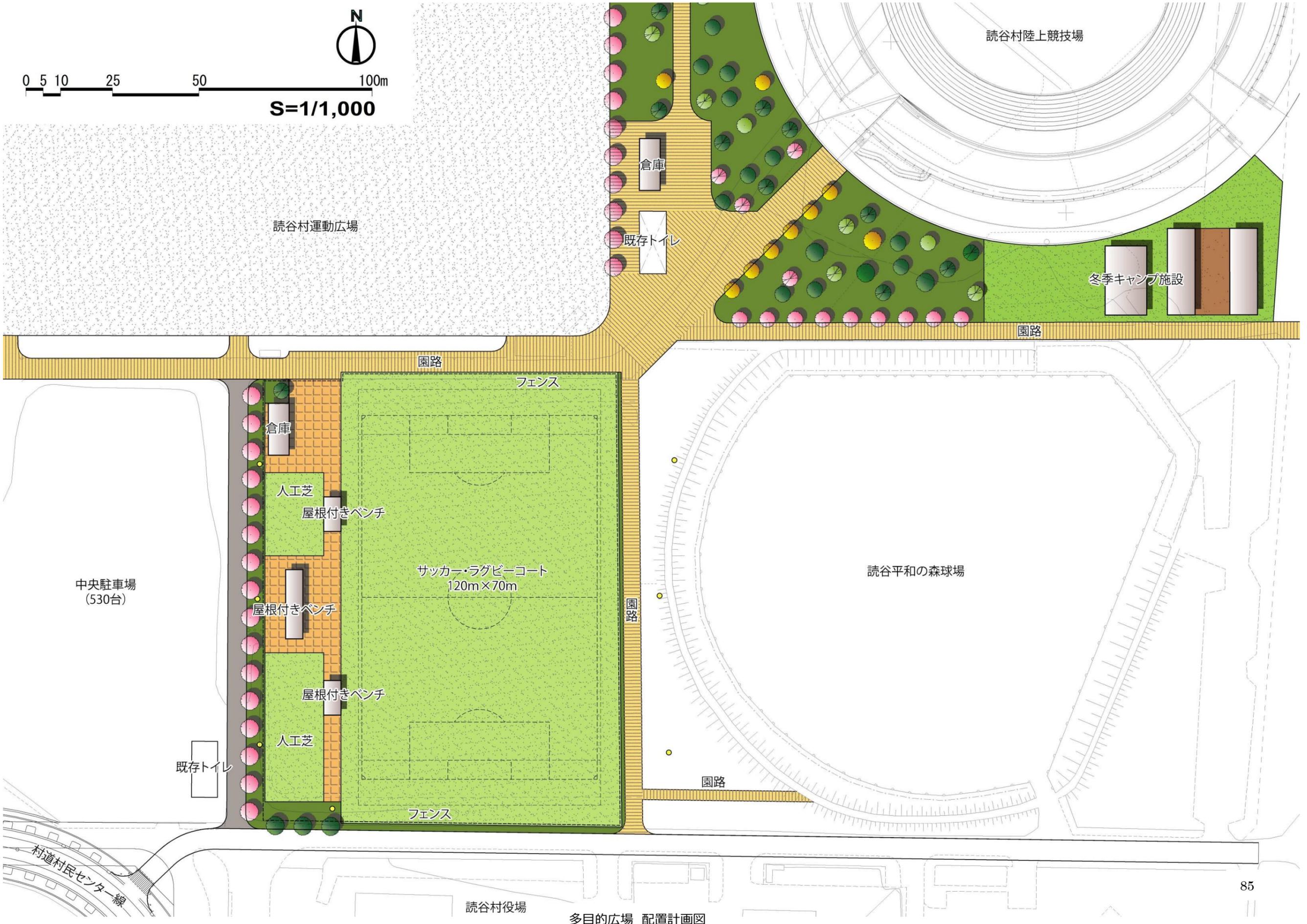
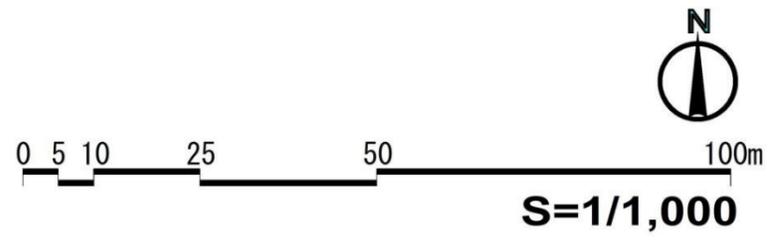
多目的広場の西側には、サッカー及びラグビー競技関係者や観覧者が利用できる屋根付きベンチと、用具を収納する倉庫、ウォーミングアップスペースや観覧スペースとして利用できる人工芝の空間を確保する。

多目的広場と読谷平和の森球場の間には、園路を2路線（幅員3m及び5m）新設する。

読谷村陸上競技場周辺については、屋内運動場（ドーム）と連絡する園路（幅員5m）を新設するとともに、緑化整備を検討する。また、南東側にある仮設のブルペンは残し、読谷村トレーニング室とともに冬季キャンプ施設として活用し、室内フリー打撃場の機能は屋内運動場（ドーム）へ移転する。







多目的広場 配置計画図

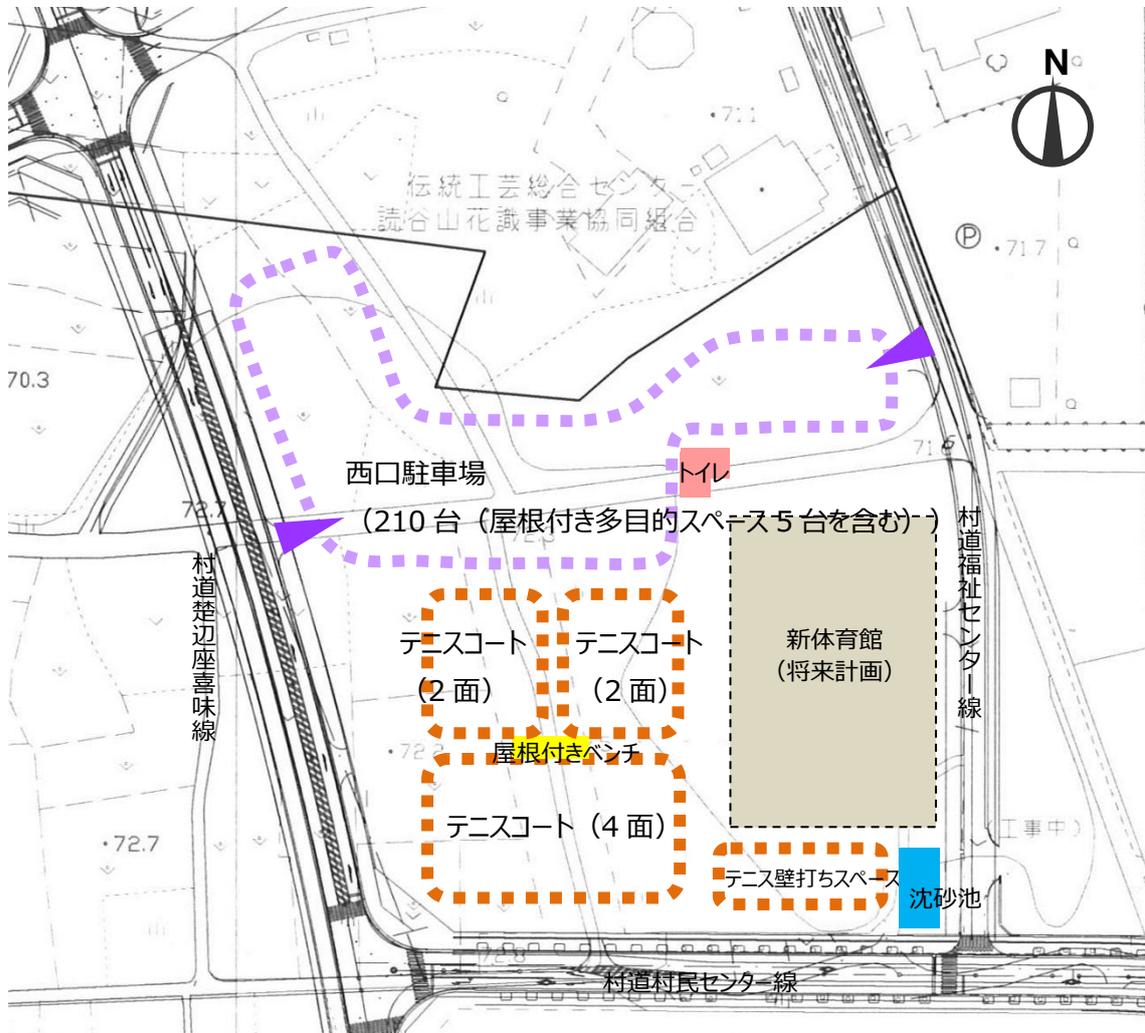


#### 1-4 テニスコート及び西口駐車場計画

テニスコート8面（硬式・軟式が両方使用できる砂入り人工芝コートの基本とするが、ハードコートの一部導入も検討する）は2面ずつ4ヶ所に分け、間に1m程度盛土したうえで屋根付きベンチを配置し、利用者の休憩や観覧スペースとして利用できるようにする。また、駐車場に近いテニスコート北側にトイレを設置するとともに、沈砂池との間で壁打ちスペースを確保する。

西口駐車場は、村道楚辺座喜味線と村道福祉センター線の両方からアクセスできる場所に210台分（屋根付き多目的スペース5台を含む）を確保する。

将来的に新体育館を整備する際の用地（82m×55m）は、テニスコートと村道福祉センター線の間でリザーブ用地として確保する。



テニスコート及び西口駐車場 計画方針図





0 5 10 25 50 100m

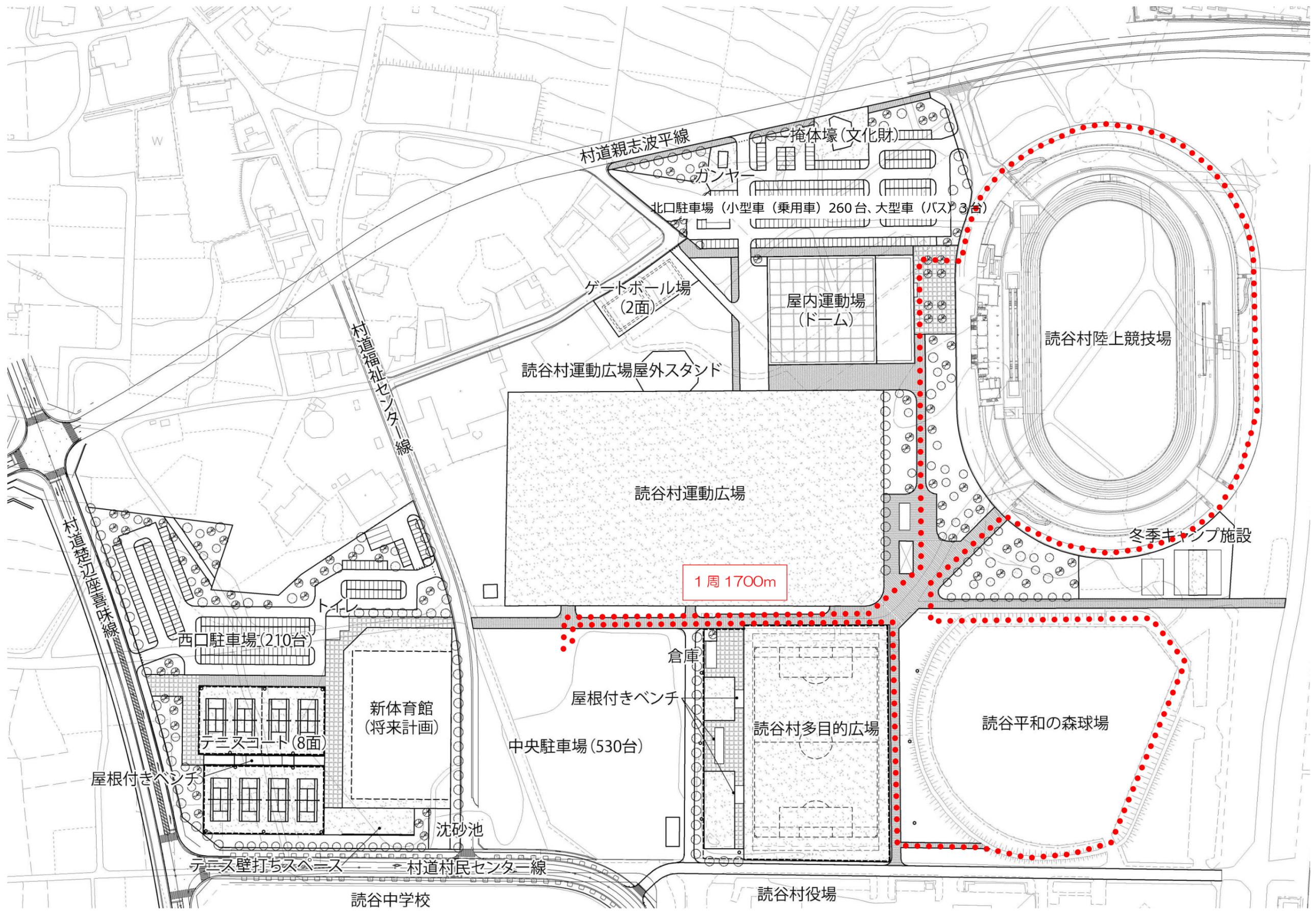
S=1/1,000



テニスコート及び西口駐車場 配置計画図







運動施設ゾーン ウォーキングルート設定図 (1/2,000)

## 1-7 修景計画

平成26年度計画では、各施設の外周や園路沿いに、厳しい炎天下でも快適に利用できるような「抱護の森づくり」を行うとしている。本計画の修景計画においても、その考え方を踏襲しつつ、以下のような方針で快適な緑地環境を整備していく。

### ① 西口駐車場の北側緑地

北西方向からの風に対する防風・防塵機能と隣接民有地に対する緩衝機能を充実させるため、密生林を配置する。また、駐車場や園路に緑陰を提供する植栽を行う。

### ② テニスコートの西側緑地

西方向からの風に対する防風・防塵機能と、村道楚辺座喜味線の良好な沿道景観を整備するための緑化を行う。

### ③ テニスコートの南側緑地

読谷中学校に対する緩衝機能や、村道村民センター線の良好な沿道景観を整備するための緑化を行う。

### ④ 新体育館（将来計画）の東側緑地

将来的に整備される新体育館と村道福祉センター線の緩衝帯となる緑地を育成する。

### ⑤ 北口駐車場の北側緑地

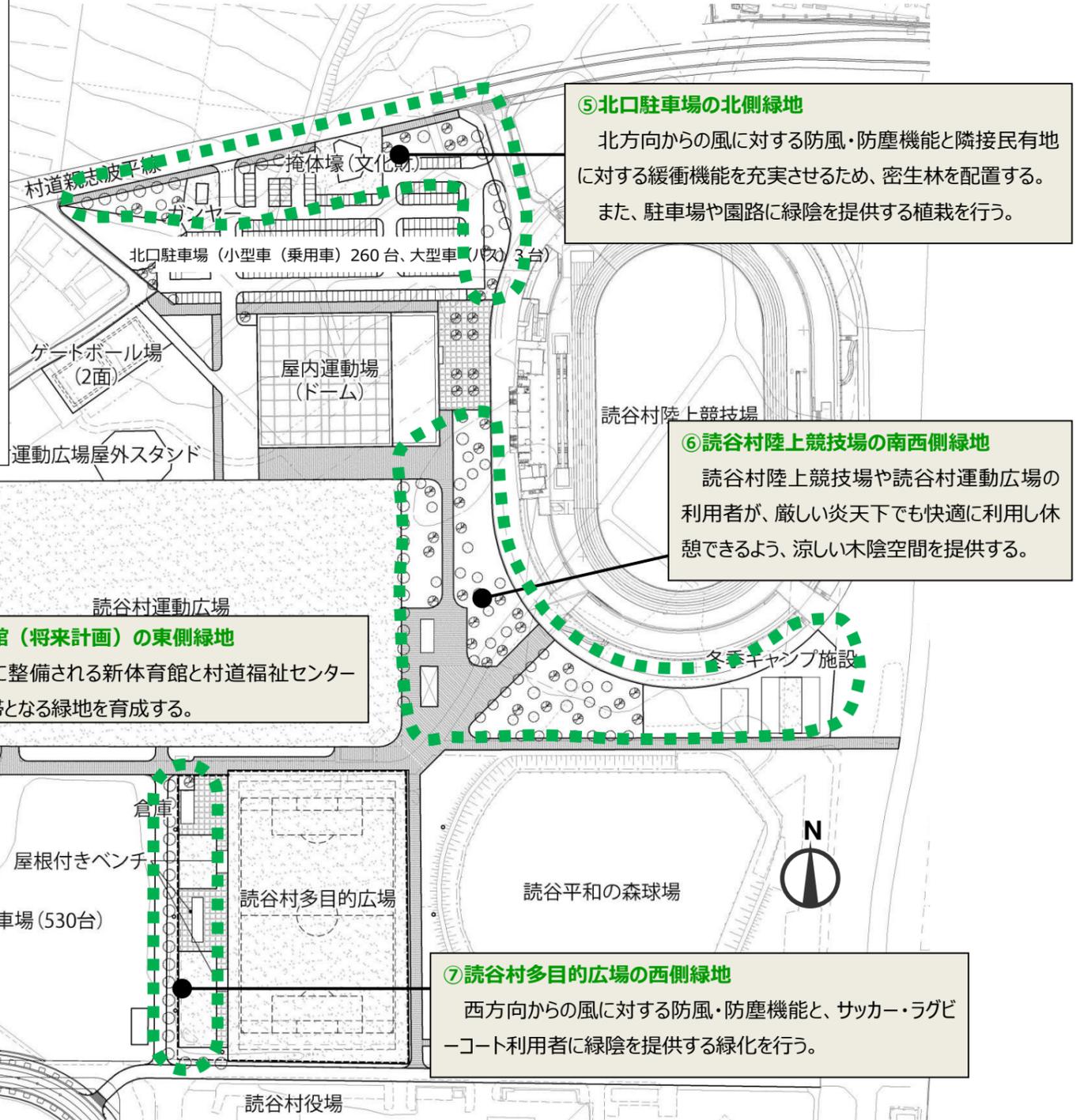
北方向からの風に対する防風・防塵機能と隣接民有地に対する緩衝機能を充実させるため、密生林を配置する。また、駐車場や園路に緑陰を提供する植栽を行う。

### ⑥ 読谷村陸上競技場の南西側緑地

読谷村陸上競技場や読谷村運動広場の利用者が、厳しい炎天下でも快適に利用し休憩できるよう、涼しい木陰空間を提供する。

### ⑦ 読谷村多目的広場の西側緑地

西方向からの風に対する防風・防塵機能と、サッカー・ラグビーコート利用者に緑陰を提供する緑化を行う。



### ① 西口駐車場の北側緑地

北西方向からの風に対する防風・防塵機能と隣接民有地に対する緩衝機能を充実させるため、密生林を配置する。また、駐車場や園路に緑陰を提供する植栽を行う。

### ④ 新体育館（将来計画）の東側緑地

将来的に整備される新体育館と村道福祉センター線の緩衝帯となる緑地を育成する。

### ② テニスコートの西側緑地

西方向からの風に対する防風・防塵機能と、村道楚辺座喜味線の良好な沿道景観を整備するための緑化を行う。

### ③ テニスコートの南側緑地

読谷中学校に対する緩衝機能や、村道村民センター線の良好な沿道景観を整備するための緑化を行う。

### ⑤ 北口駐車場の北側緑地

北方向からの風に対する防風・防塵機能と隣接民有地に対する緩衝機能を充実させるため、密生林を配置する。また、駐車場や園路に緑陰を提供する植栽を行う。

### ⑥ 読谷村陸上競技場の南西側緑地

読谷村陸上競技場や読谷村運動広場の利用者が、厳しい炎天下でも快適に利用し休憩できるよう、涼しい木陰空間を提供する。

### ⑦ 読谷村多目的広場の西側緑地

西方向からの風に対する防風・防塵機能と、サッカー・ラグビーコート利用者に緑陰を提供する緑化を行う。

## 1-8 供給処理施設計画

### (1) 雨水排水計画

運動施設ゾーンの各施設で集水された雨水は、暗渠排水路を流れ、最終的には北側の座喜味川へと放流されている。

#### 【屋内運動場（ドーム）及び北口駐車場周辺の雨水排水計画】

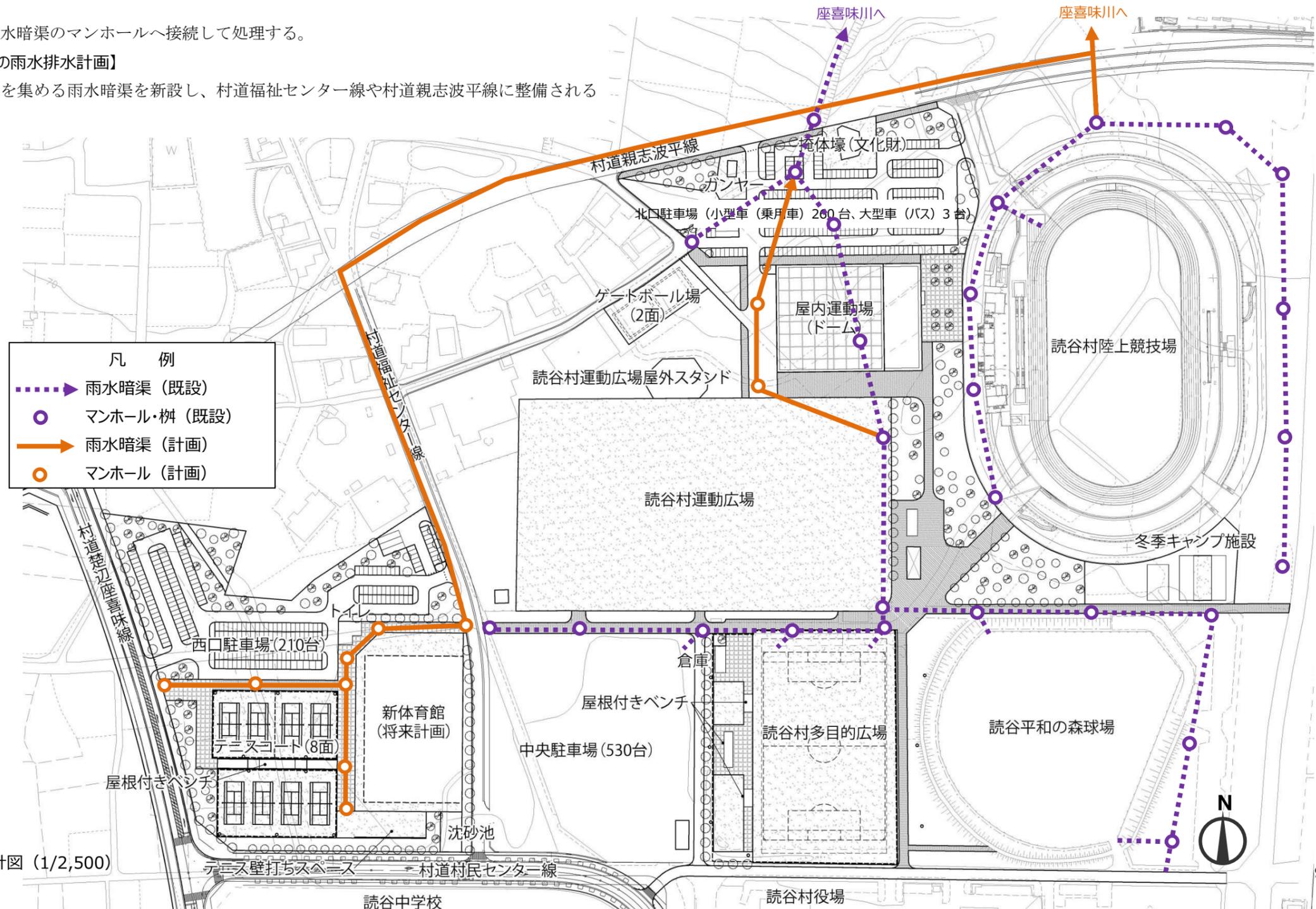
現況の雨水暗渠が敷設されている場所に屋内運動場（ドーム）が建設されるため、建物の西側へ雨水暗渠を移設し、屋内運動場（ドーム）及び北口駐車場の雨水を処理する。

#### 【多目的広場の雨水排水計画】

多目的広場内の雨水は、既設の雨水暗渠のマンホールへ接続して処理する。

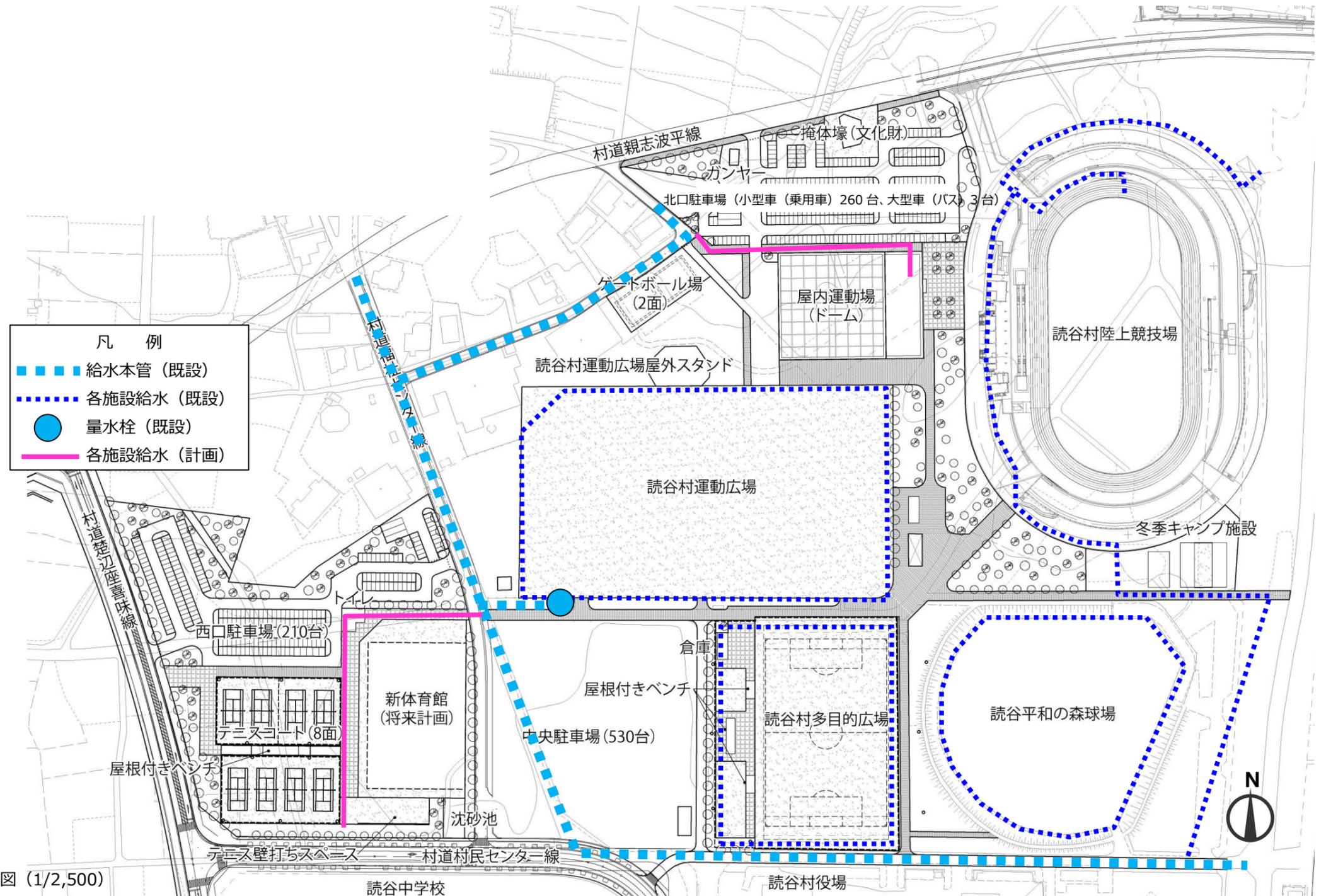
#### 【テニスコート及び西口駐車場周辺の雨水排水計画】

テニスコートや西口駐車場の雨水を集める雨水暗渠を新設し、村道福祉センター線や村道親志波平線に整備される雨水暗渠に接続して処理する。



運動施設ゾーン 雨水排水計画方針図 (1/2,500)

(2) 上水供給計画



運動施設ゾーン 上水供給計画方針図 (1/2,500)







## 2. 建築計画

### 2-1 屋内運動場(ドーム)計画

#### (1) 計画方針

雨天時の室内野球練習場、フットサル、ゲートボールやレクリエーション施設、スポーツイベントの開会式など、多様な用途の使用ができる人工芝を敷設した屋内運動場（ドーム）の計画を行う。

#### ① 建物の建築面積と最高高さ

建物の建築面積は、野球練習場やフットサル等様々な使用目的を想定し、4,860㎡（81m×60m）とする。野球の室内練習が行える天井高さを確保するため、建物の最高高さは宜野湾市屋内運動場と同程度の22.4mとする。

#### ② アリーナの大きさ

アリーナのサイズは、56m×56mとする。この場合、アリーナ周辺のウォーキングスペースを除いた活動スペースは50m×50mとなるが、これは県内ドームの平均的なサイズである。

#### ③ ロッカー室・シャワー室

ロッカー室・シャワー室は、エントランスから近い場所に配置する。

#### ④ トレーニングルーム

現状の読谷村トレーニング室（300㎡）が手狭になっているため、約340㎡を確保する。

#### ⑤ 研修室

研修や会議のほか、アリーナ利用時の控え室等多目的に活用できるようにし、エントランスやアリーナから近い場所に配置する。

#### ⑥ 器具庫・倉庫

器具庫・倉庫は、利用しやすいようにアリーナやトレーニングルームに面する位置に配置する。

#### ⑦ ウォーキングスペース

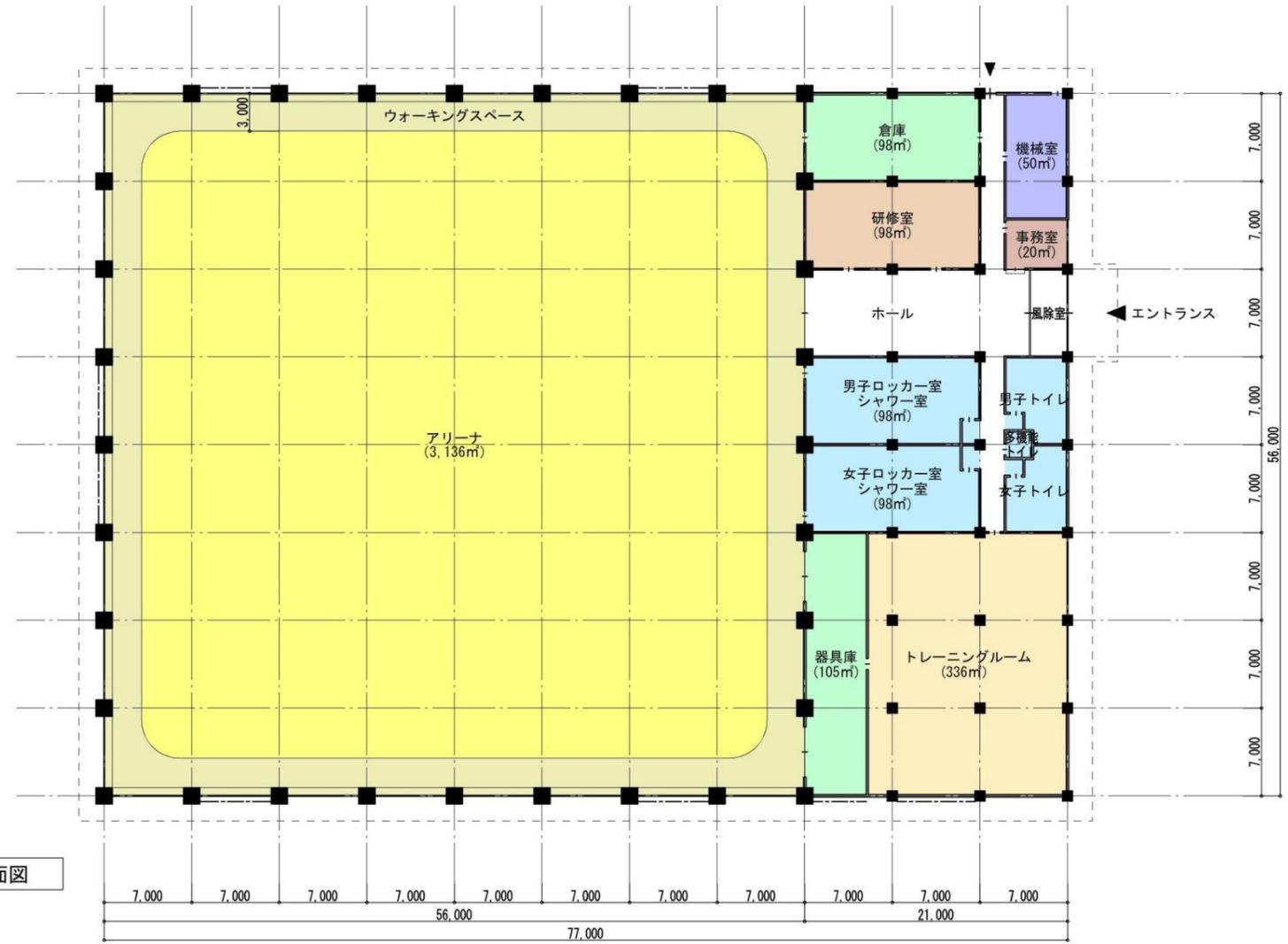
ウォーキングスペースを、アリーナ周辺を活用して設置する。（一周200m）



(2) 屋内運動場（ドーム）計画

屋内運動場（ドーム）面積表

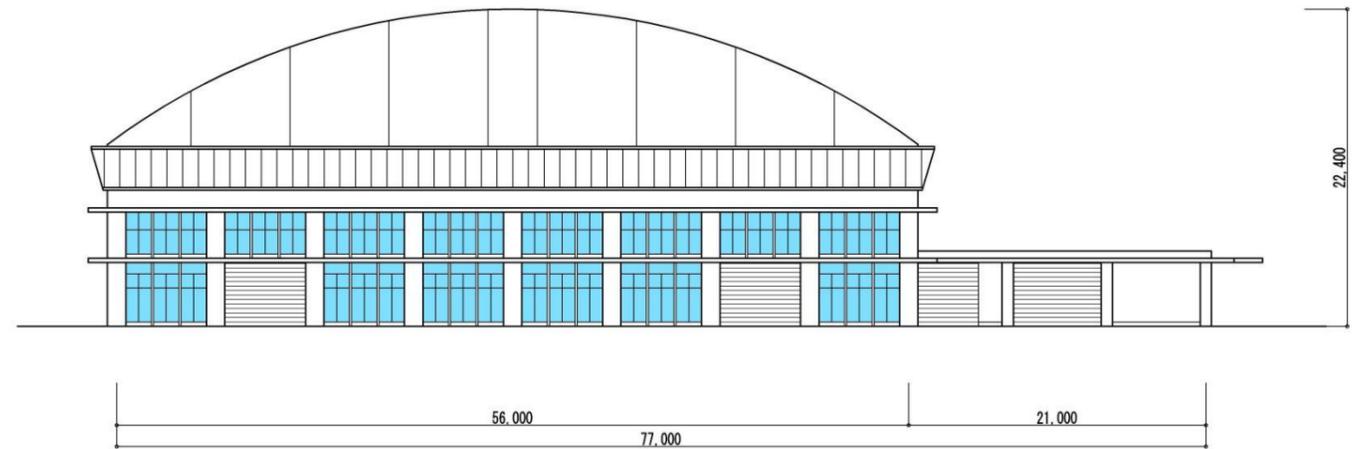
室名	面積 (㎡)
アリーナ（ウォーキングスペースを含む）	3,136
トレーニングルーム	336
研修室	98
ロッカー室・シャワー室・トイレ（男・女）	196
トイレ（男・女・多機能）	70
事務室	20
器具庫	105
倉庫	98
機械室	50
ホール・風除室・廊下	203
合計	4,312



屋内運動場 平面図  
S=1/500 (A3)



正面立面図

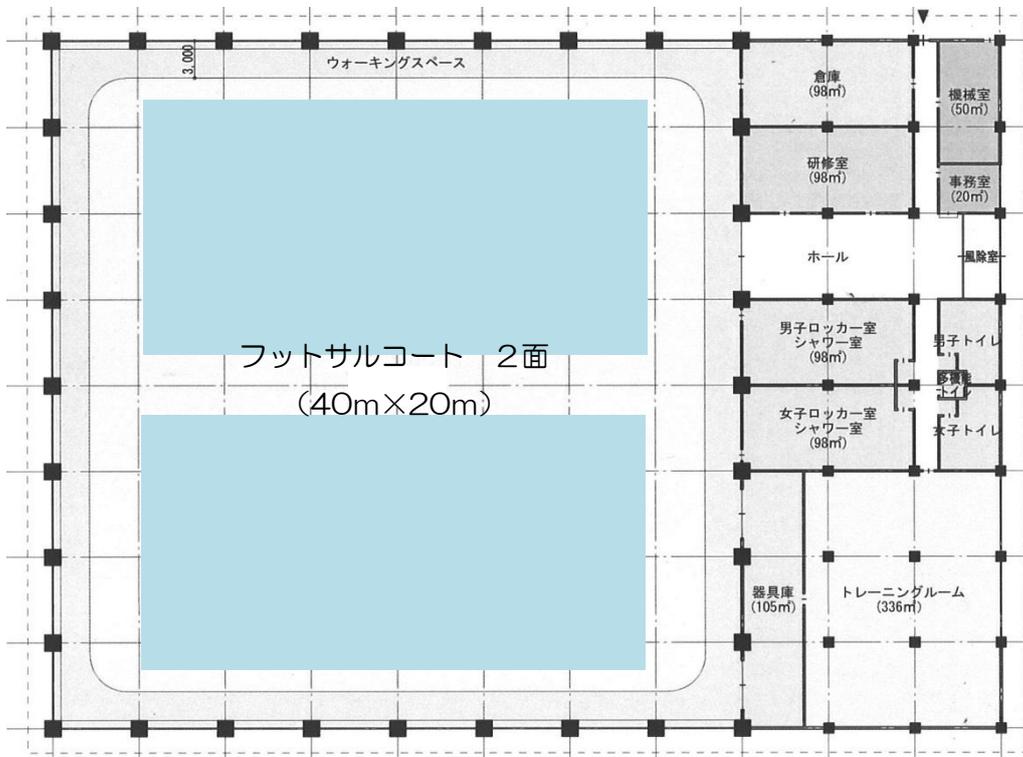
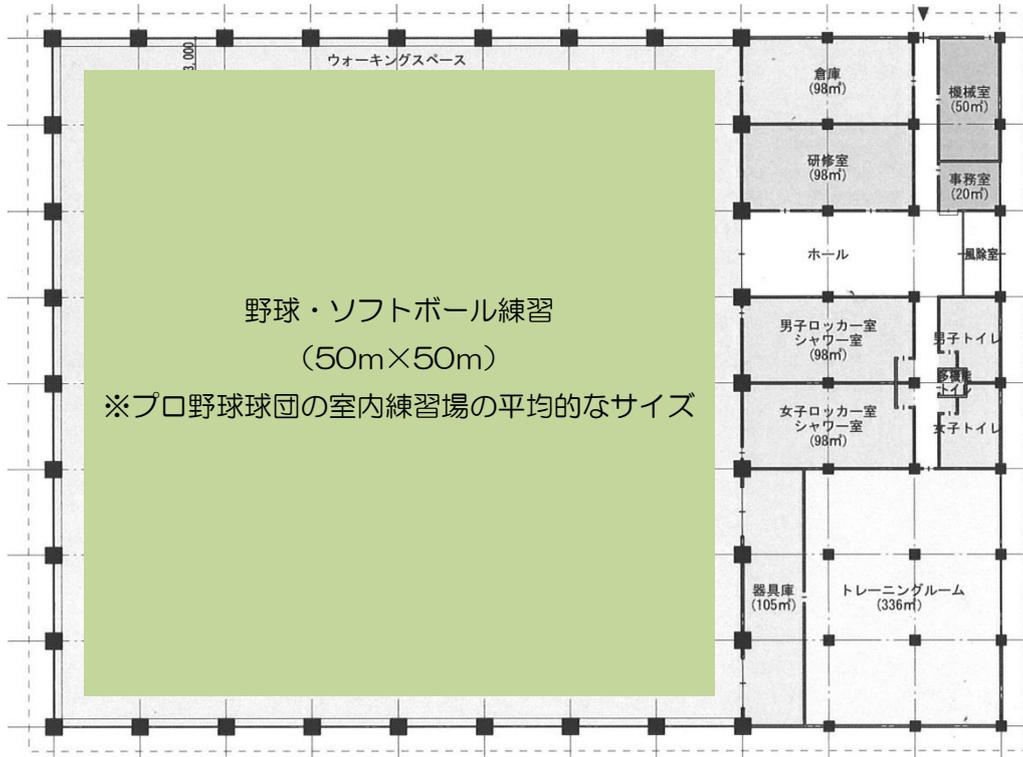


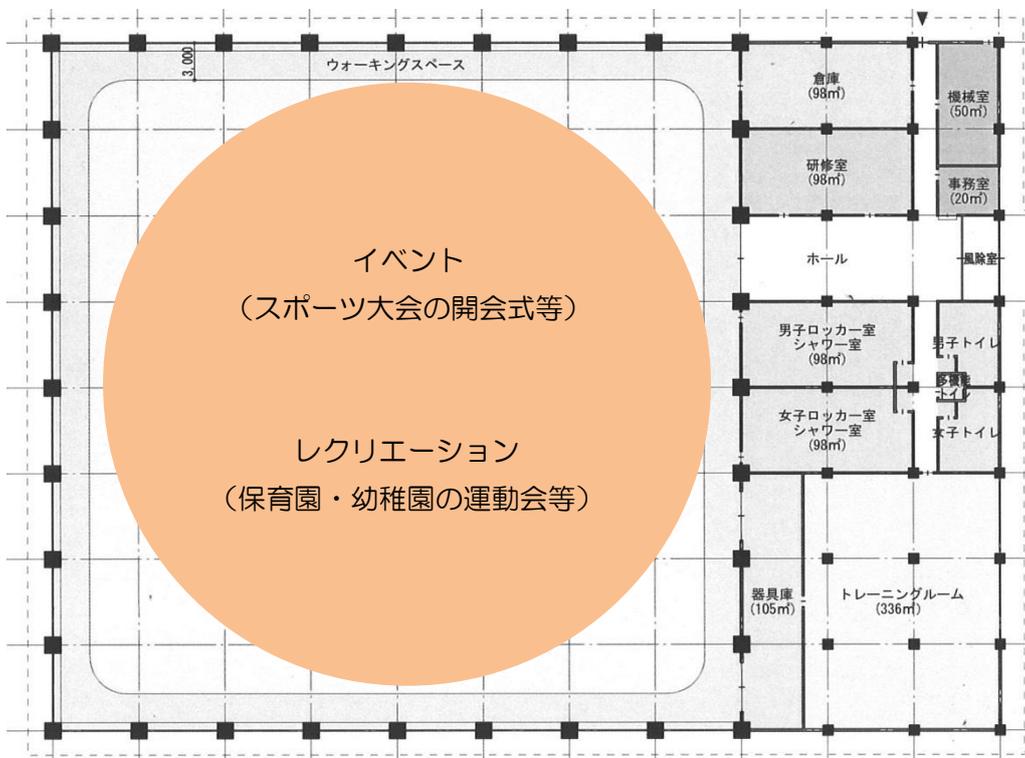
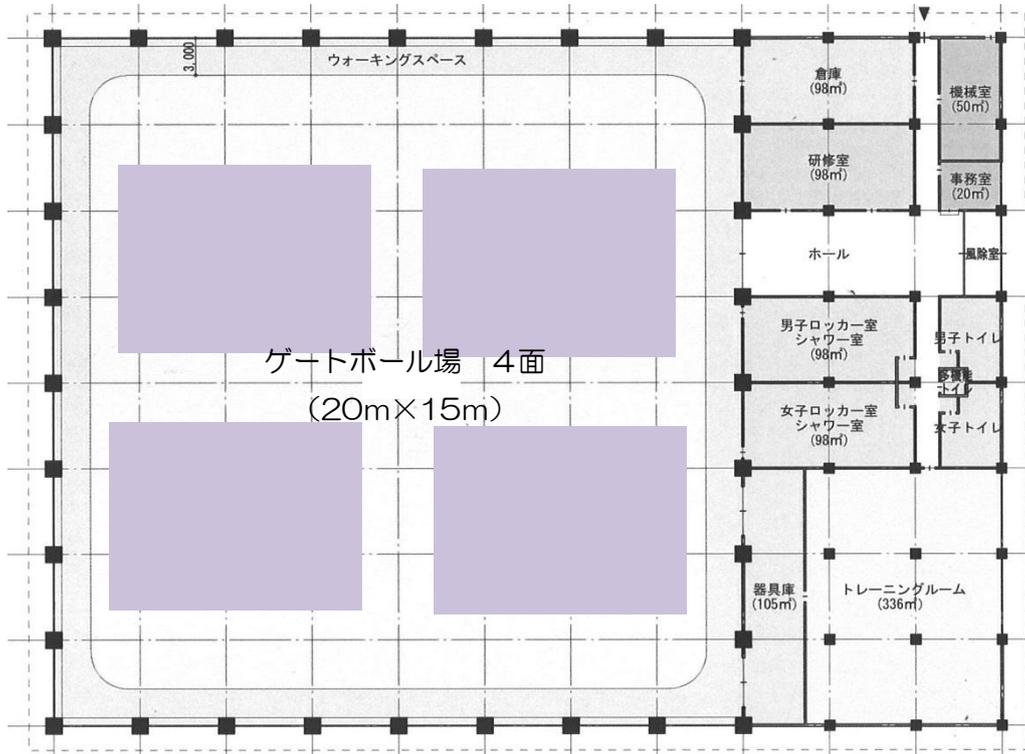
屋内運動場 立面図  
S=1/500 (A3)

側面立面図



【参考・アリーナ利用例】





【参考・プロ野球球団の室内練習場事例】

球団名	施設名	場 所	室内練習場のサイズ	備考（付属設備）
ソフトバンク ホークス	屋内練習場	福岡県筑後市	61m×61m	マシン用打席 4 レーン、 ブルペン 6 レーン
オリックス バファローズ	室内練習場	大阪市此花区	61m×61m	
千葉ロッテ マリーンズ	屋内練習場	千葉市美浜区 (ZOZO マリン スタジアム横)	55m×55m	
東北楽天 ゴールデン イーグルス	1 軍室内 練習場	宮城県仙台市	50m×50m	バッティング練習場、 ピッチング練習場
西武 ライオンズ	室内練習場	埼玉県所沢市	50m×50m	バッティング練習場 4、 ピッチング練習場 5
中日 ドラゴンズ	新屋内練習場	名古屋市中川区	50m×50m	
広島東洋 カープ	マツダスタジアム 屋内練習場	広島市南区	45m×45m	人工芝グラウンド バッティング練習場
ヤクルト スワローズ	明治神宮 室内球技場	東京都新宿区	45m×45m	
<b>平均値</b>			<b>52m×52m</b>	

平均的  
サイズ

【参考・県内屋内ドーム事例】

施設名	縦寸法	横寸法	天井高さ
宜野湾市多目的運動場	56m	56m	19m
沖縄市グリーンフィールド	65m	52m	21m
伊江村多目的運動場	62.4m	54.6m	22.42m
名護市あけみお SKY ドーム	66m	49m	22.8m
宜野座ドーム	84m	67.2m	24.9m
久米島ホテルドーム	59.5m	59.5m	19.5m
石垣市中央運動公園屋内練習場	60.2m	60.2m	20.23m
うるま市具志川ドーム	72m	61m	21m
赤間多目的運動場	59.5m	48m	19.5m
嘉手納ドーム	48m	48m	20.28m
北谷ドーム	54m	62.5m	22.25m
<b>平均値</b>	<b>62.4m</b>	<b>56.1m</b>	<b>21.2m</b>

(縦寸法、横寸法は図上計測)

### (3) 景観シミュレーション

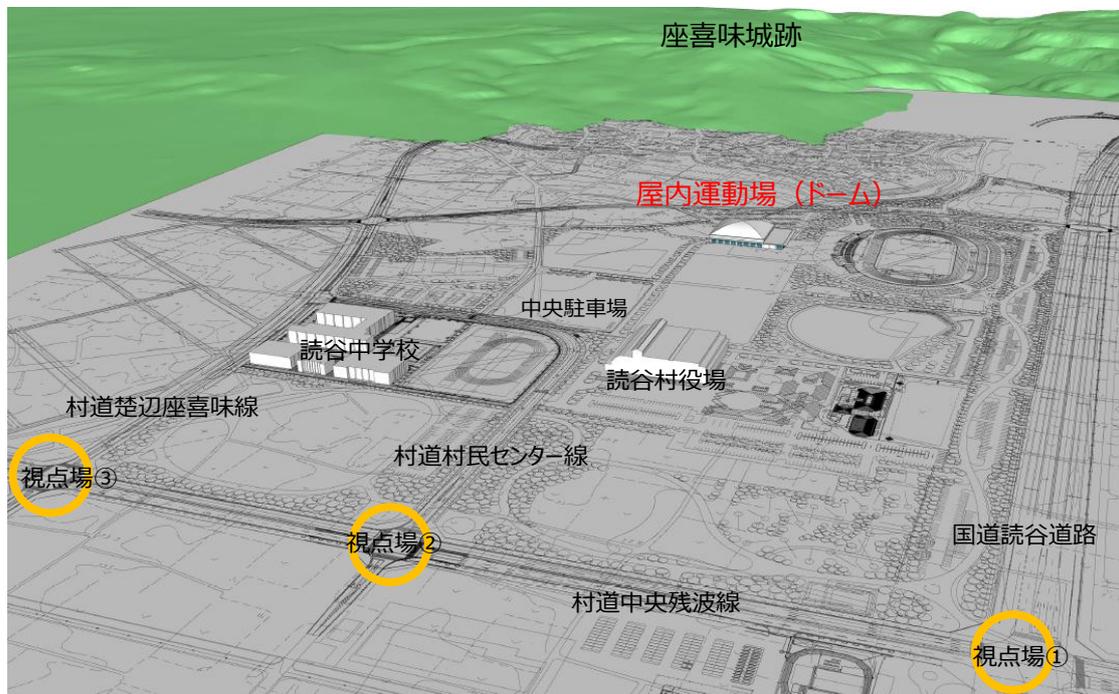
屋内運動場（ドーム）の計画内容と配置をもとに景観シミュレーションを行ったところ、視点場①や視点場②から座喜味城跡への視線を妨げないことが確認された。

なお、視点場③からは位置的に屋内運動場（ドーム）は見えず、逆に座喜味城跡からは森林や集落に遮られて屋内運動場（ドーム）は見えないと考えられる。

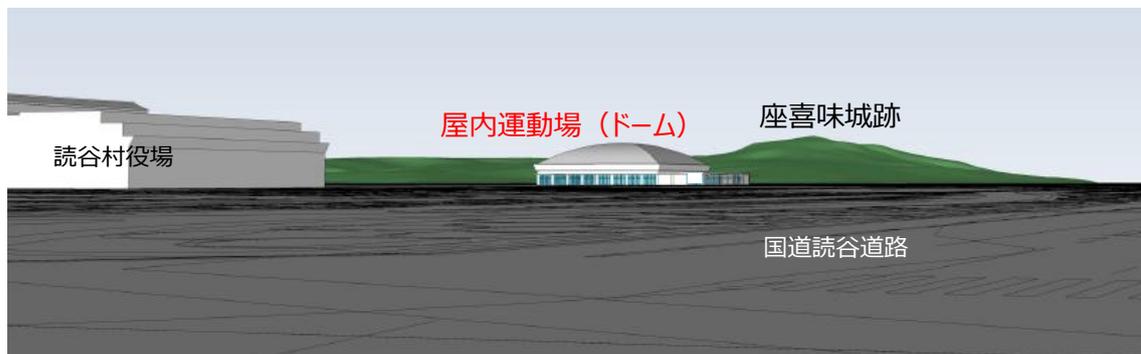
景観シミュレーションの結果として、屋内運動場（ドーム）は現在の計画位置で、視点場から座喜味城跡への視線に大きな影響は及ぼさないものと考えられる。

しかし、ドーム建物の今後の計画・設計においては、そのつど景観シミュレーションを行い、景観保全を図る必要がある。

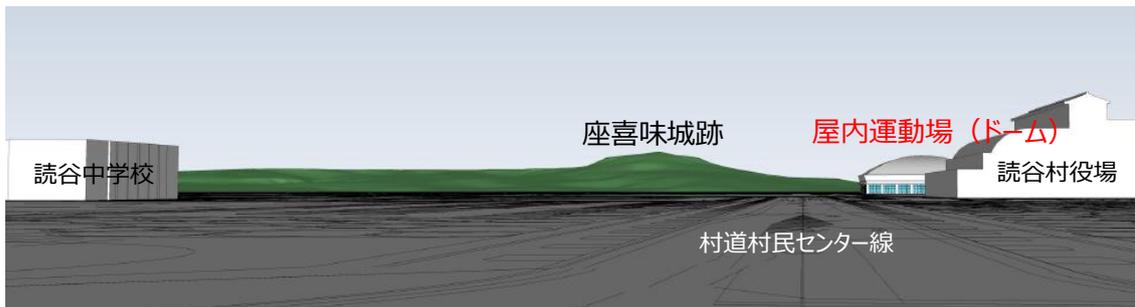
#### 【屋内運動場（ドーム）、各視点場、座喜味城跡の位置関係】



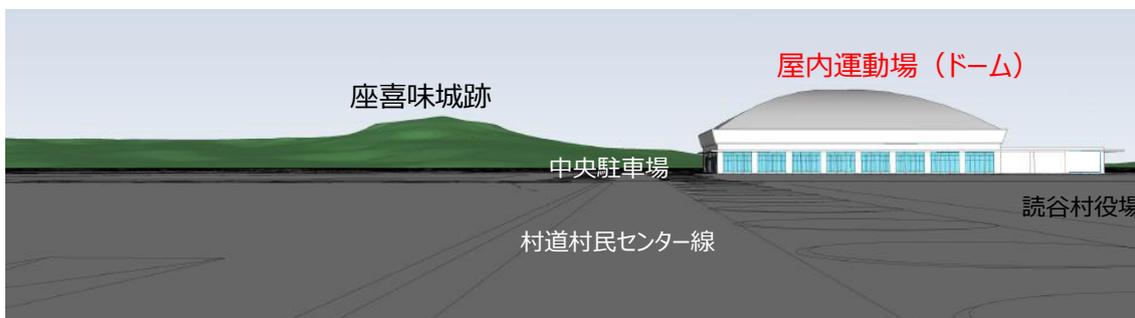
#### 【視点場①（国道読谷道路と村道中央残波線の交差点付近）からの見え方】



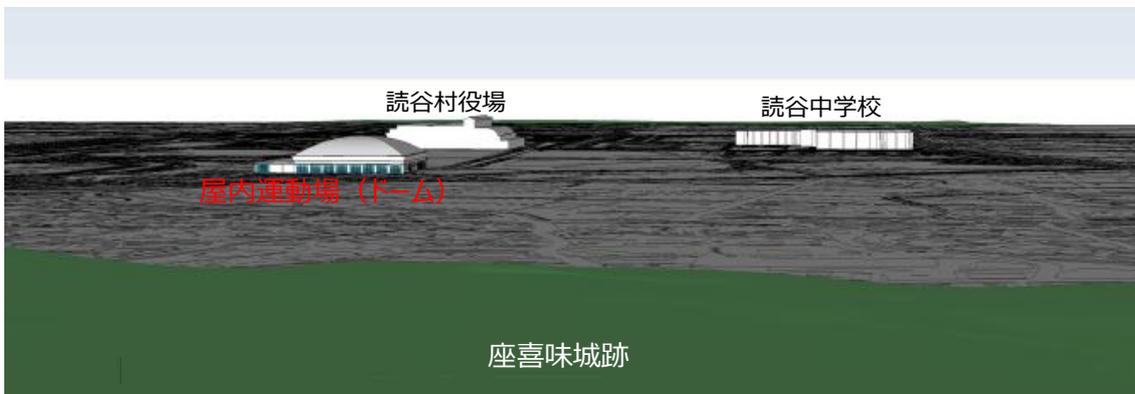
【視点場②（村道村民センター線と村道中央残波線の交差点付近）からの見え方】



【視点場②より北側へ役場付近まで進んだ地点からの見え方】



【座喜味城跡からの見え方】





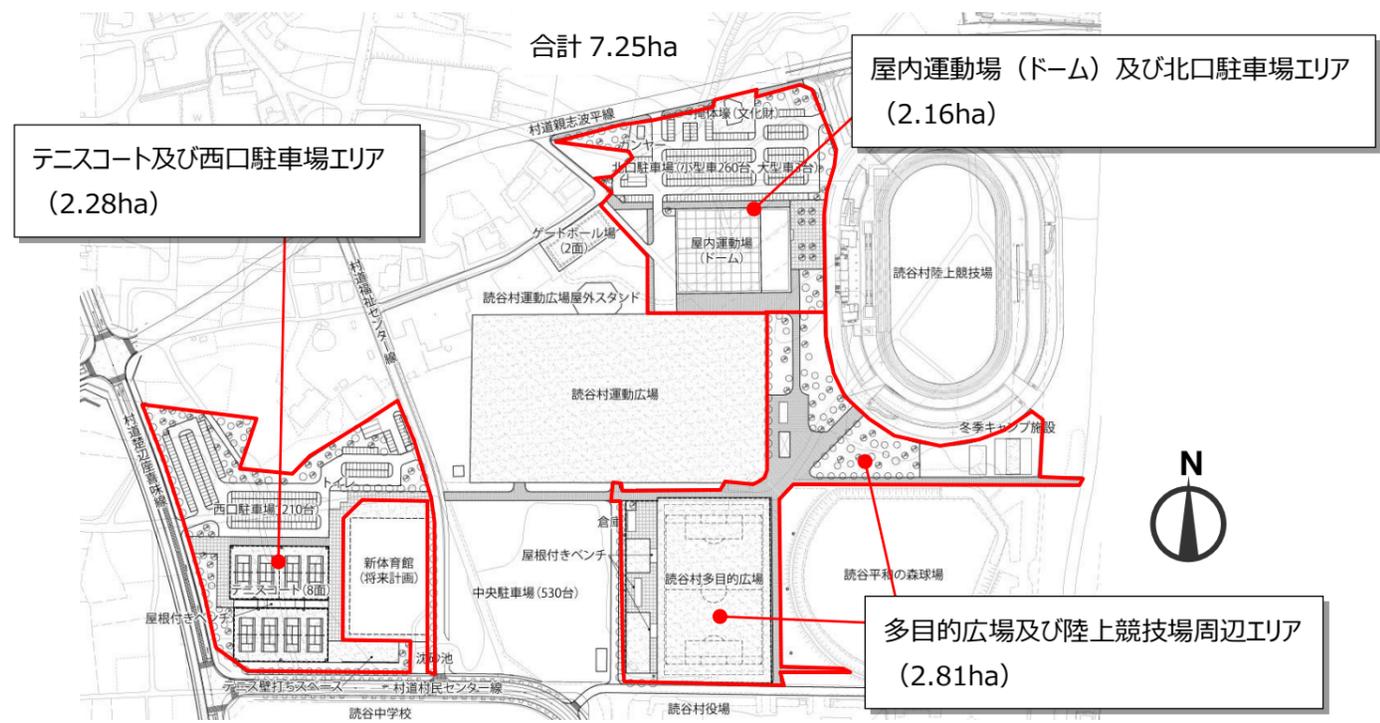
### 3. 概算事業費の検討

屋内運動場(ドーム)及び北口駐車場エリア概算工事費									
施設名称	数量	単位	工事単価(千円)	直接工事費(千円)	諸経費率(%)	諸経費(千円)	合計金額(千円)	消費税込み金額(千円)	備考
屋内運動場(ドーム)	4,312	m <sup>2</sup>	250	1,078,000	30	323,400	1,401,400	1,541,540	延床面積 4,312 m <sup>2</sup>
ドーム前広場	1,100	m <sup>2</sup>	15	16,500	60	9,900	26,400	29,040	
園路	2,300	m <sup>2</sup>	15	34,500	60	20,700	55,200	60,720	
駐車場・車路	8,800	m <sup>2</sup>	4	35,200	60	21,120	56,320	61,952	
緑地	3,400	m <sup>2</sup>	3	10,200	60	6,120	16,320	17,952	
芝生	1,000	m <sup>2</sup>	2	2,000	60	1,200	3,200	3,520	掩体壕、ガンヤー周り
屋根付き多目的スペース	90	m <sup>2</sup>	15	1,400	60	840	2,240	2,464	90 m <sup>2</sup> 1ヶ所
供給処理設備	21,600	m <sup>2</sup>	1.2	25,920	60	15,550	41,470	45,617	
合計				1,203,720		398,830	1,602,550	1,762,805	

多目的広場及び陸上競技場周辺エリア概算工事費									
施設名称	数量	単位	工事単価	直接工事費(千円)	諸経費率(%)	諸経費(千円)	合計金額(千円)	消費税込み金額(千円)	備考
サッカー・ラグビーコート	10,400	m <sup>2</sup>	10	104,000	60	62,400	166,400	183,040	人工芝
人工芝スペース	1,100	m <sup>2</sup>	10	11,000	60	6,600	17,600	19,360	
屋根付きベンチ周り	1,400	m <sup>2</sup>	15	21,000	60	12,600	33,600	36,960	
園路	5,500	m <sup>2</sup>	15	82,500	60	49,500	132,000	145,200	
緑地	6,700	m <sup>2</sup>	3	20,100	60	12,060	32,160	35,376	
芝生	1,700	m <sup>2</sup>	2	3,400	60	2,040	5,440	5,984	
倉庫	180	m <sup>2</sup>	270	48,600	30	14,580	63,180	69,498	90 m <sup>2</sup> 2棟
屋根付きベンチ	200	m <sup>2</sup>	240	48,000	60	28,800	76,800	84,480	100 m <sup>2</sup> 1ヶ所、50 m <sup>2</sup> 2ヶ所
防球ネット	470	m	58	27,300	60	16,380	43,680	48,048	H=10.0m
供給処理設備	28,100	m <sup>2</sup>	1.2	33,700	60	20,220	53,920	59,312	
合計				399,600		225,180	624,780	687,258	

テニスコート及び西口駐車場エリア概算工事費				直接工事費(千円)	諸経费率(%)	諸経費(千円)	合計金額(千円)	消費税込み金額(千円)	備考
施設名称	数量	単位	工事単価						
テニスコート	5,200	m <sup>2</sup>	13	67,600	60	40,560	108,160	118,976	砂入り人工芝
テニス壁打ちスペース	800	m <sup>2</sup>	10	8,000	60	4,800	12,800	14,080	砂入り人工芝
園路	2,900	m <sup>2</sup>	15	43,500	60	26,100	69,600	76,560	
駐車場・道路	7,200	m <sup>2</sup>	4	28,800	60	17,280	46,080	50,688	
緑地	6,600	m <sup>2</sup>	3	19,800	60	11,880	31,680	34,848	
トイレ	140	m <sup>2</sup>	600	84,000	30	25,200	109,200	120,120	140 m <sup>2</sup> 1 棟
屋根付きベンチ	100	m <sup>2</sup>	240	24,000	60	14,400	38,400	42,240	100 m <sup>2</sup> 1 ヶ所
屋根付き多目的スペース	90	m <sup>2</sup>	15	1,400	60	840	2,240	2,464	90 m <sup>2</sup> 1 ヶ所
テニスコートフェンス	430	m	32	13,800	60	8,280	22,080	24,288	H=5.0m
テニスコート照明設備	10	基	1,600	16,000	60	9,600	25,600	28,160	
供給処理設備	22,800	m <sup>2</sup>	1.2	27,400	60	16,440	43,840	48,224	新体育館敷地周辺、沈砂池を除く
合計				334,300		175,380	509,680	560,648	

全体概算事業費 合計(消費税を含む)	
項目	概算事業費(千円)
屋内運動場(ドーム)及び北口駐車場エリア 概算工事費	1,762,805
多目的広場及び陸上競技場周辺エリア 概算工事費	687,258
テニスコート及び西口駐車場エリア 概算工事費	560,648
建築設計費(屋内運動場(ドーム)設計・工事監理費)	103,483
公園設計費(7.25ha × 1.3 千円/m <sup>2</sup> )	94,250
土木設計費(7.25ha × 0.4 千円/m <sup>2</sup> )	29,000
付帯設備工事・工事雑費・事務費等(上記の 3%)	97,123
合計	3,334,567



エリア位置図 (1/5,000)

## 4. 施設利用促進に関する検討

### 4-1 米軍関係者やプロ・アマスポーツ団体等との交流促進

本村では、村内の運動施設を利用した在沖米軍関係者との交流イベントを実施しているほか、村内でスポーツキャンプを実施するプロ・アマスポーツ団体に運動施設の利用を提供している。



運動施設ゾーン内で整備される施設の円滑な活用や利用促進に向けては、今までの村内における交流・利用の実績を発展させて、在沖米軍関係者やプロ・アマスポーツ団体との連携が欠かせないものと考えられる。

(1) 交流による屋内運動場（ドーム）の利用促進

プロ野球キャンプの練習場として毎年利用されている実績を活かした野球練習や野球教室の開催をはじめ、気候や天候に影響を受けない屋内型施設としての利点を活かし、在沖米軍関係者やその他利用団体との交流の場として、積極的に利用促進を図る。

利用計画一覧（          ：在沖米軍関係者との交流イベント）

	関連イベント	利用団体等※	備考(村内の他イベント)
4月	野球練習 ソフトボール練習 フットサル練習	小、中、高、大、一、社 中、高、大、一 小、中、高、大、一	体協ソフトボール大会 体協サッカー大会 体協ラグビー大会
5月	野球練習 ソフトボール練習 フットサル練習	小、中、高、大、一、社 中、高、大、一 小、中、高、大、一	体協野球大会 体協バドミントン大会 体協卓球大会
6月	ソフトボール練習 フットサル練習 読老連ゲートボール大会 レクリエーション大会(新規)	中、高、大、一 小、中、高、大、一 一 小、中、一、米	体協男女バスケット大会 小学生陸上競技大会 村ハーリー大会
7月	野球練習 ソフトボール練習 フットサル練習 地元自治会スポーツ大会	小、中、高、大、一、社 中、高、大、一 小、中、高、大、一 小、中、高、一、米	読老連ゲートボール大会 体協柔道大会 体協相撲大会
8月	野球練習 ソフトボール練習 フットサル練習	小、中、高、大、一、社 中、高、大、一 小、中、高、大、一	シニアソフトボール大会 村エイサーまつり 中頭郡エイリアティング大会
9月	野球練習 ソフトボール練習 フットサル練習	小、中、高、大、一、社 中、高、大、一 小、中、高、大、一	村陸上大会 村畜産まつり
10月	フットサル練習 フットサル大会(新規) 村内保育園運動会	小、中、高、大、一 一、米 保	幼稚園運動会 読老連運動会 読谷村まつり
11月	けんこうまつり 野球練習 ソフトボール教室 フットサル教室	小、中、高、大、一 小、中、高、大、一 小、中 小、中	村駅伝大会 赤犬子三線発表 読老連文化祭
12月	日本代表ソフトボールキャンプ 実業団ソフトボールキャンプ	社 社	中頭郡駅伝大会 村ウォーキング大会
1月	実業団ソフトボールキャンプ プロ野球キャンプ	社 中日ドラゴンズ2軍	新春トリムマラソン大会 小学生駅伝大会 成人式
2月	プロ野球キャンプ 野球教室 野球練習	中日ドラゴンズ2軍 小、プ 小、中、高、大、一	まなびフェスタ いちやりば祭
3月	日本代表ソフトボールキャンプ ソフトボール練習 野球練習	社 中、高、一 小、中、高、大、一	さんしんの日 村ウォーキング大会

※ 保：保育園、小：小学校、中：中学校、高：高校、大：大学、一：一般、  
社：社会人、プ：プロ、米：在沖米軍関係者

(2) 交流による多目的広場の利用促進

人工芝グラウンドとして改良を行うことにより、試合や練習等の雨天中止がないサッカー・ラグビーコートとしての利点を活かし、在沖米軍関係者やその他利用団体との交流の場として、積極的に利用促進を図る。

利用計画一覧（          ：在沖米軍関係者との交流イベント）

	関連イベント	利用団体等※	備考(村内の他イベント)
4月	体協サッカー大会 体協ラグビー大会 サッカー練習	— — 小、中、高、大、一	体協ソフトボール大会
5月	高体連サッカー大会 サッカー練習 フットサル練習	高 小、中、高、大、一 小、中、高、大、一	体協野球大会 体協バドミントン大会 体協卓球大会
6月	中体連サッカー大会 サッカー練習 フットサル練習 ラグビー大会(新規)	中 小、中、高、大、一 小、中、高、大、一 一、米	読老連ゲートボール大会 体協男女バスケット大会 小学生陸上競技大会 村ハーリー大会
7月	小学生サッカー大会 ラグビー練習 フットサル練習	小 小、中、高、大、一 小、中、高、大、一	読老連グラントゴルフ大会 体協柔道大会 体協相撲大会
8月	サッカー練習 タグラグビー大会(新規) フットサル練習	小、中、高、大、一 小、中、米 小、中、高、大、一	シニアソフトボール大会 村エイサーまつり 中頭郡ウェイトリフティング大会
9月	サッカー練習 ラグビー練習 フットサル練習	小、中、高、大、一 小、中、高、大、一 小、中、高、大、一	村陸上大会 村畜産まつり
10月	サッカー練習 サッカー大会(新規) フットサル練習	小、中、高、大、一 一、米 小、中、高、大、一	村内保育園・幼稚園運動会 読老連運動会 読谷村まつり
11月	サッカー練習 ラグビー練習 フットサル練習	小、中、高、大、一 小、中、高、大、一 小、中、高、大、一	村駅伝大会 赤犬子三線発表 読老連文化祭
12月	サッカー練習 ラグビー練習 フットサル練習	小、中、高、大、一 小、中、高、大、一 小、中、高、大、一	中頭郡駅伝大会 村ウォーキング大会
1月	サッカー練習 ラグビー練習 フットサル練習	小、中、高、大、一 小、中、高、大、一 小、中、高、大、一	新春トリムマラソン大会 小学生駅伝大会 成人式
2月	サッカー練習 ラグビー練習 フットサル練習	小、中、高、大、一 小、中、高、大、一 小、中、高、大、一	まなびフェスタ いちやりば祭
3月	サッカー練習 ラグビー練習 フットサル練習	小、中、高、大、一 小、中、高、大、一 小、中、高、大、一	さんしんの日 村ウォーキング大会

※ 小：小学校、中：中学校、高：高校、大：大学、一：一般、米：在沖米軍関係者

(3) 交流によるテニスコートの利用促進

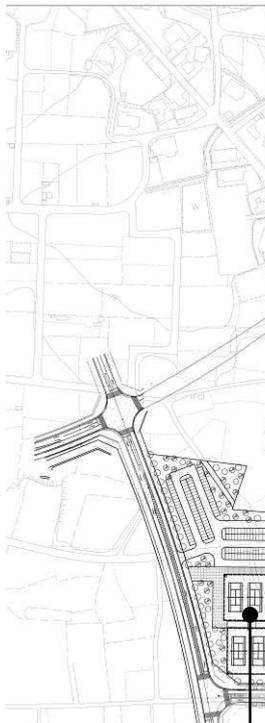
砂入り人工芝コートとして8面を整備することにより、試合や練習等の雨天中止がなく、大会が開催可能な面数のあるテニスコートとしての利点を活かし、在沖米軍関係者やその他利用団体との交流の場として、積極的に利用促進を図る。

利用計画一覧 ( : 在沖米軍関係者との交流イベント)

	関連イベント	利用団体等※	備考(村内の他イベント)
4月	体協硬式テニス大会 硬式テニス練習 ソフトテニス練習	— 小、中、高、大、一 小、中、高、大、一	体協ソフトボール大会 体協サッカー大会 体協ラグビー大会
5月	体協ソフトテニス大会 高体連硬式テニス大会 ソフトテニス練習	— 高 小、中、高、大、一	体協野球大会 体協バドミントン大会 体協卓球大会
6月	中体連硬式テニス大会 中体連ソフトテニス大会 ソフトテニス練習	中 中 小、中、高、大、一	読老連ゲートボール大会 体協男女バスケット大会 小学生陸上競技大会 村ハーリー大会
7月	硬式テニス練習 ソフトテニス練習 硬式テニス大会(新規)	小、中、高、大、一 小、中、高、大、一 一、米	読老連グラントゴルフ大会 体協柔道大会 体協相撲大会
8月	硬式テニス練習 ソフトテニス大会 中頭体協硬式テニス大会	小、中、高、大、一 小 —	シニアソフトボール大会 村エイサーまつり 中頭郡ウェイトリフティング大会
9月	硬式テニス練習 ソフトテニス練習	小、中、高、大、一 小、中、高、大、一	村陸上大会 村畜産まつり
10月	硬式テニス練習 ソフトテニス練習 ソフトテニス大会(新規)	小、中、高、大、一 小、中、高、大、一 一、米	村内保育園・幼稚園運動会 読老連運動会 読谷村まつり
11月	硬式テニス練習 ソフトテニス練習	小、中、高、大、一 小、中、高、大、一	村駅伝大会 赤犬子三線発表 読老連文化祭
12月	硬式テニス練習 ソフトテニス練習	小、中、高、大、一 小、中、高、大、一	中頭郡駅伝大会 村ウォーキング大会
1月	硬式テニス練習 ソフトテニス練習	小、中、高、大、一 小、中、高、大、一	新春トリムマラソン大会 小学生駅伝大会 成人式
2月	硬式テニス練習 ソフトテニス練習 硬式テニス大会(新規)	小、中、高、大、一 小、中、高、大、一 小、中、米	まなびフェスタ いちやりば祭
3月	硬式テニス練習 ソフトテニス練習	小、中、高、大、一 小、中、高、大、一	さんしんの日 村ウォーキング大会

※ 小：小学校、中：中学校、高：高校、大：大学、一：一般、米：在沖米軍関係者

【想定交流イベント】



●屋内運動場（ドーム）

○日米交流イベント

レクリエーション大会、地元自治会スポーツ大会、フットサル大会

○プロ・アマスポーツ団体交流イベント

プロ野球キャンプ・野球教室、ソフトボールキャンプ・ソフトボール教室

○一般交流イベント

村内保育園運動会、読者連ゲートボール大会、少年野球読谷支部の雨天練習場・少年野球大会の雨天時開会式、読谷村ソフトボール協会の雨天練習場・大会の雨天時開会式・ソフトボール教室、読谷村サッカー協会のフットサル教室、けんこうまつり

●多目的広場

○日米交流イベント

ラグビー大会、タグラグビー大会、サッカー大会

○一般交流イベント

読谷村体育協会ラグビー大会、読谷村体育協会サッカー大会、小・中・高等学校によるサッカー公式試合、サッカー・ラグビー・フットサル練習

●テニスコート

○日米交流イベント

硬式テニス大会、ソフトテニス大会

○一般交流イベント

読谷村体育協会硬式テニス大会、読谷村体育協会ソフトテニス大会、小・中・高等学校による公式試合、硬式・ソフトテニス練習

#### 4-2 施設を利用しやすいシステムづくり

- インターネットを活用した利用しやすい予約システムや、施設情報及び空き状況の発信による利用者の利便性の向上
- 村民が、仕事が終わってからの夜間でも利用できるような、柔軟な利用時間帯の設定
- プロ野球キャンプやスポーツイベント等で利用できない期間の事前周知や、村内外の代替施設情報の提供

#### 4-3 利用促進のためのプログラムづくりやイベントの開催

- 運動を苦手としている初心者や女性でも入りやすい雰囲気づくりや、インストラクターによる初心者向けレッスンなど、今まで運動施設ゾーンを利用していなかった利用者層にアピールするプログラムづくりやソフト事業の実施
- 各運動施設やウォーキングルートなどを使った参加型の健康づくりイベントや、スポーツ以外の音楽・文化イベントなど、賑わい創出空間としての運動施設ゾーンの活用

#### 4-4 施設を利用しやすい環境づくり

- 施設利用回数に応じた利用料のポイント割引制や、施設利用クーポン券の発行など、利用者の経済的負担を緩和する措置の検討

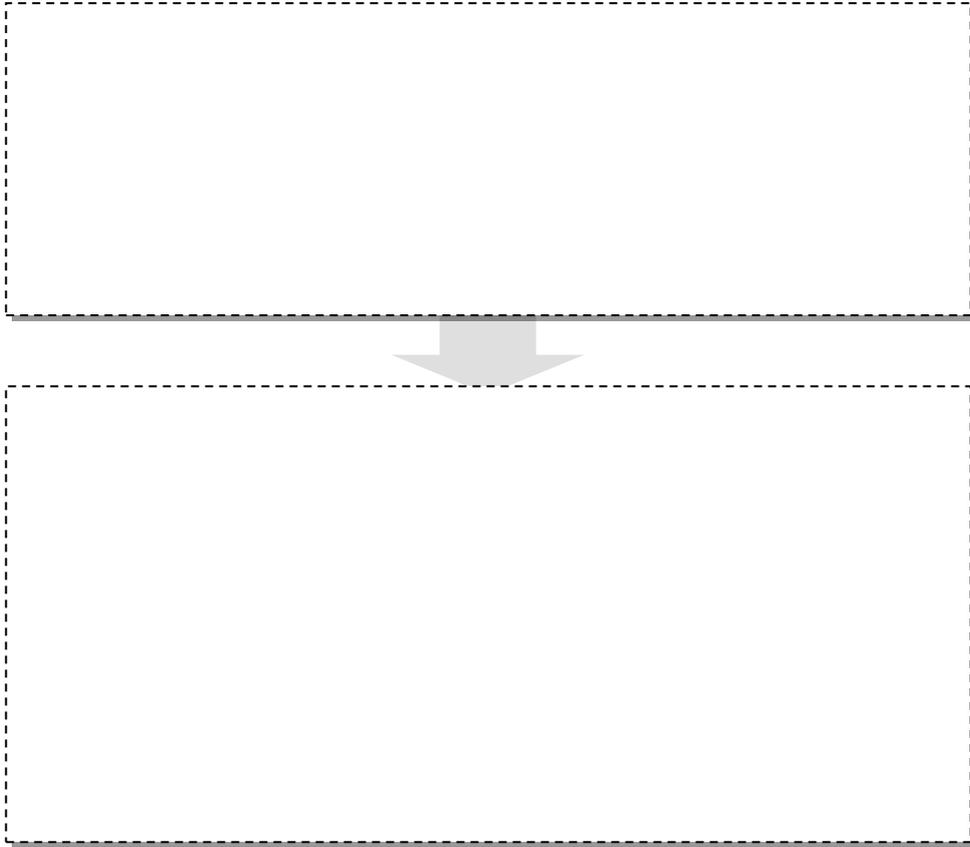
## 5. 管理運営計画の検討

### 5-1 管理運営の基本的な考え方

本計画における管理運営の基本的な考え方については、国策であるスポーツ庁の「第3期スポーツ計画」や県の上位計画である「沖縄県スポーツ振興基本計画」に基づいて、以下のように設定する。

The diagram consists of a top-level dashed rectangular box. A large, light gray downward-pointing arrow is positioned below this box. Below the arrow is a larger dashed rectangular box. This larger box contains three smaller, horizontally-oriented dashed rectangular boxes stacked vertically, representing sub-sections or components of the management and operation plan.

「第3期スポーツ計画」や「沖縄県スポーツ振興基本計画」に沿った「読谷村」のまちづくりの一環として、以下の取り組みを構築する。



こうした取り組みが推進可能な施設管理運営方式を検討し、具現化の取り組みを行う。

## 5-2 設置及び運営管理方式の考え方

施設の設置及び運営方法については、それぞれの施設が公共団体（村）または民間によって「公設公営」「公設民営」「民設民営」「民設公営」といった、4種類の方式が考えられる。

### （1）公設公営（直営方式（一部業務委託を含む））

施設の設置・運営を、ともに公共団体（村）が直接担う直営方式で、管理運営に関する責任は行政が負う。

#### 【メリット】

施設を設置している公共団体（村）に所属する管理運営責任者が、直接に業務の上の指示を行うため、管理運営業務、事業執行の実施主体と責任主体が一致する。

#### 【デメリット】

管理責任者および職員の雇用・勤務条件は公共団体（村）内部の規定に従うため、能力や実績に応じて臨機応変に職員を処遇するなど柔軟な運用は難しく、定期的業務以外の、対外的ネットワーク、ノウハウを活用した企画立案、事業実施コーディネートでの効果を発揮することが難しい一面がある。

### （2）公設民営

#### ① 管理運営委託（指定管理者方式）

施設を公共団体（村）が建設し、その管理運営を民間に委託する形態。

指定管理者方式は「委託費支払型」（公共団体（村）が委託費として民間に支払う）・「利用料金型」（民間が利用料収入の中から負担する）・「両者の併用型」の3つに区分される。

#### 【メリット】

民間事業者のノウハウを活用し、サービスの質が上がり、コストが下がる可能性が高い。利用料金制により利用促進で収入増加（経費削減）も期待できる。

#### 【デメリット】

長期的展望に立った継続的な取り組みや安定経営が困難な場合がある。ノウハウが蓄積・継続しないリスクがある。

#### ② 施設貸与・譲渡方式

施設を公共団体（村）が建設したうえで、民間に有償もしくは無償で貸与又は譲渡し、その管理運営を委ねる方式。

管理運営にかかる費用は、基本的に民間が利用料収入の中から負担する。

#### 【メリット】

管理運営責任は運営者となるため、公共団体（村）の運営に係るリスクが無くなる。

#### 【デメリット】

民間による管理運営となるため、運用手法に対する業務内容の監理等が難しくなる。

### （３）民設公営（リース方式）

施設を民間が建設・所有し、公共団体（村）が借り受けて、管理運営を担う方式。

公共団体（村）は施設の所有者である民間にリース料を支払うが、建設費もリース料に反映されるため結果として、施設の設置・運営にかかる費用は公共団体（村）が負担することとなる。民間が施設を建設し、賃貸借契約を締結して公共団体がリース料及び維持管理費を支払い、一定期間経過後、建物を無償で譲り受ける「リースバック方式」もある。

#### 【メリット】

施設を公共団体が保有しないため、維持・更新コストの負担がない。

#### 【デメリット】

ライフサイクルコストとしては割高になる可能性があり、所有者が民間となるため、継続性・安定性のリスクは残る。

### （４）民設民営（PFI方式、補助金方式）

公共的な施設に関して、設置・運営をともに民間が行う方式。

施設の設計・建設・管理・運営・資金調達を一括し、長期契約として民間に委ねる PFI 方式が代表例である。

#### 【メリット】

民間のノウハウ・資金を活用できるとともに、初期投資金額を平準化できる。

補助金方式の場合、公共団体（村）が自ら施設を保有せず施設を増やすことができる。

#### 【デメリット】

事業手続きが煩雑であり、事務コストがかかる。

### 5-3 各ビジネスモデルと設置・運営方式

各ビジネスモデルに対し、設置運営及び運営方式の可能性を整理する。

各ビジネスモデルを以下のように分類する。



各ビジネスモデルに対し、設置・運営方式を整理する。

#### (1) ソーシャルビジネス型



ソーシャルビジネス型は、施設の運営性質上、営利目的ではなく地域コミュニティ や社会教育施設・青少年育成等の強化を図るためのビジネスモデルであるため、公設公営（直営方式）の設置・運営方式が適用可能と考えられる。

また、運営を民営化（管理運営委託方式）することにより、民間のサービス向上ノウハウを活用しつつ、公共団体（村）側にとっては維持費のコスト削減や行政目的に沿った管理運営が可能になると考えられる。

#### (2) 営利ビジネス型



営利ビジネス型は、営利目的を追求するビジネスモデルであるため、民間のノウハウ・資金を活用し、利潤が出やすい運営環境を公共団体（村）にて整える公設民営（施設貸与・譲渡方式）や民設民営（PFI方式・補助金方式）の設置・運営方式が適用可能と考えられる。

PFI・補助金方式の場合は、公共団体（村）が自ら施設を保有せずに施設を増やすことが可能である。

### (3) ソーシャルビジネス型+営利ビジネス型



ソーシャルビジネス型と営利ビジネス型を複合させるビジネスモデルでは、営利事業で得た利潤にて運営強化を行い、非営利事業の継続性・安定性を図ることを可能とするため、公設民営（管理運営委託方式、施設貸与・譲渡方式）や民設民営（PFI方式・補助金方式）の設置・運営方式が適用可能と考えられる。

なお、民設公営（リース方式）は、民間が施設を建設・所有することにより公共団体（村）が借り受け管理運営を行うが、公共団体（村）は施設の所有者である民間にリース料を支払うこととなる。そうした中、民間が建設した建設費もリース料に反映されるため、結果として施設の設置・運営にかかる費用は公共団体（村）が負担することになるが、現実問題として民間企業（特にリース企業）がこのビジネスモデルに参画することが可能かどうかについては疑問が残るため、地域活性化拠点の設置・運営にはなじまないと考えられる。

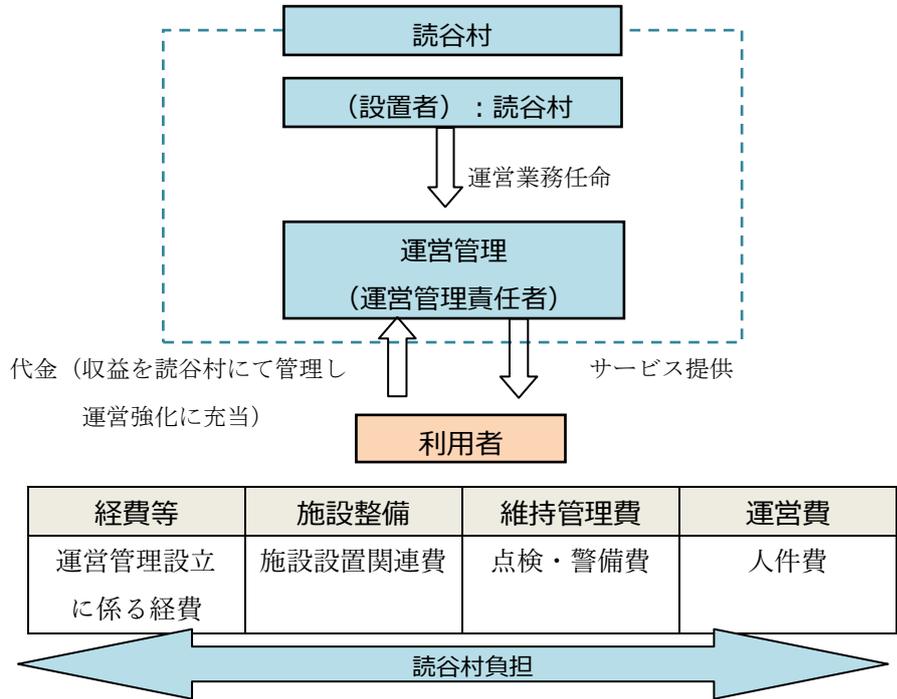
施設設置・運営方式比較表

設置・運営区分	公設公営	公設民営		民設公営	民設民営
設置主体	公共団体 (村)	公共団体 (村)		民間	民間
運営主体	公共団体 (村)	民間		公共団体 (村)	民間
設置・運営方式	直営方式	管理運営 委託方式 (指定管者 方式)	施設貸与・ 譲渡方式	リース方式	PFI 方式、 補助金方式
概 要	<ul style="list-style-type: none"> <li>●行政目的に沿った管理運営がやりやすい。</li> <li>●定期的業務以外の企画立案等が難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●民間ノウハウの活用、サービスの質が上がり、利用金制度にて利用収入増加。</li> <li>●長期的展望に立った継続的取り組み・安定経営が困難。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●管理運営は民間となるため、公共団体(村)への管理運営費の負担が少ない。</li> <li>●民間による管理運営上での業務内容の監理・監督が困難。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●施設を公共団体(村)が保有しないため、維持・更新コストの負担がない。</li> <li>●ライフサイクルコストとしては割高になる可能性がある。</li> <li>●所有者が民間となるため、継続性・安定性のリスクが残る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●民間のノウハウ・資金を活用でき、初期投資を平準化できる。</li> <li>●事業手続きが煩雑、事務コストがかかる。</li> </ul>
ソーシャルビジネス型	×	○	○	×	○
営利ビジネス型	×	×	×	×	×
ソーシャルビジネス型 + 営利ビジネス型	×	×	×	×	×

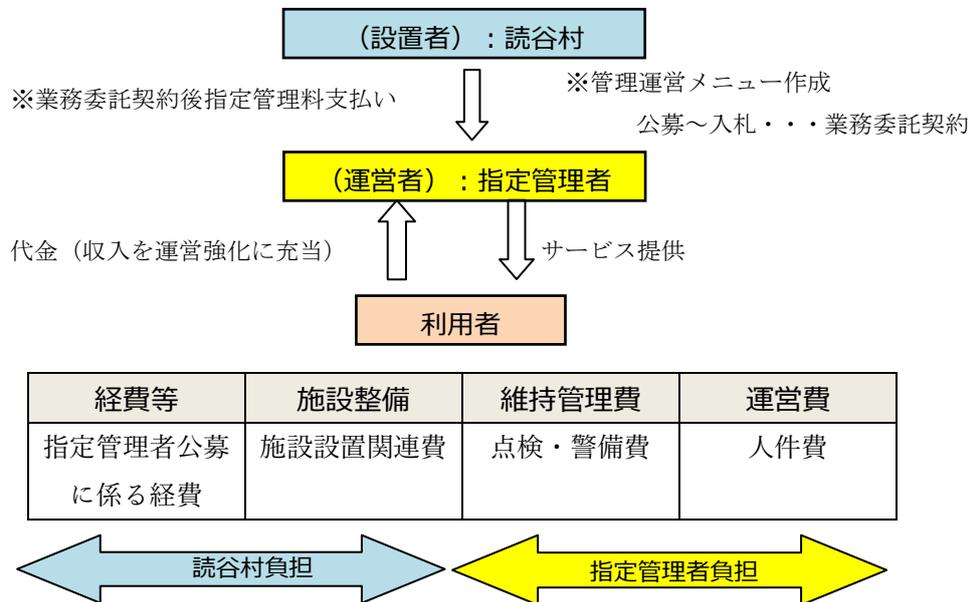
※○×標記は「設置・運営区分」に対し、各ビジネスモデル型の適応を示している。

## 5-4 施設の管理運営方式

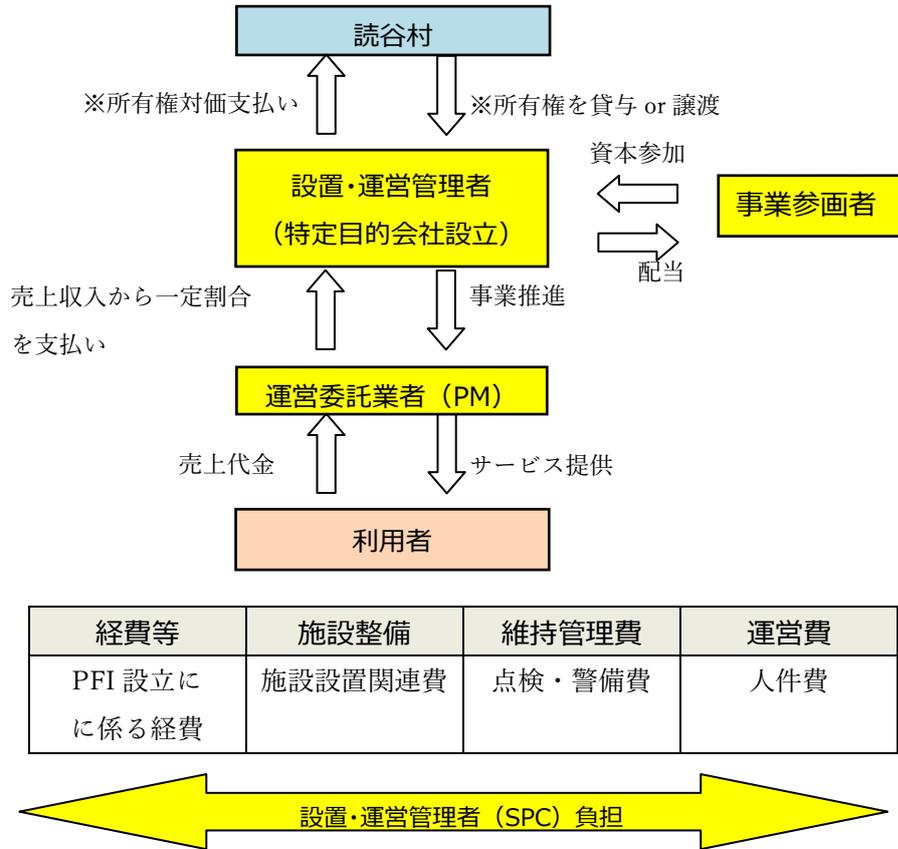
### (1) 直営方式の場合



### (2) 管理運営委託方式（指定管理者方式）の場合



(3) PFI 方式、補助金方式の場合



## 6. 収支計画の検討

### (1) 収支計画の検討

#### ① 屋内運動場（ドーム）の事業収支シミュレーション

項 目	金 額	内訳及び根拠
総投資額 （屋内運動場（ドーム） 及び北口駐車場エリア）	1,960,098 千円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 概算工事費 : 1,762,805 千円</li> <li>・ 建築設計費 : 103,483 千円</li> <li>・ 公園設計費 : 28,080 千円</li> <li>・ 土木設計等 : 8,640 千円</li> <li>・ 付帯設備工事等 : 57,090 千円</li> </ul>
年間収入	9,853 千円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施設利用料 : 8,321 千円</li> <li>・ 付属施設利用料 : 931 千円</li> <li>・ 衛生費 : 601 千円</li> </ul>
支出条件 （販管費+施設維持費）	33,823 千円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人件費等 : 14,455 千円</li> <li>・ 事業費（事務用品） : 200 千円</li> <li>・ 維持管理費 : 6,400 千円</li> <li>・ 役務費 : 368 千円</li> <li>・ 委託料 : 7,600 千円</li> <li>・ 水道光熱費 : 4,800 千円</li> </ul>
収支計	<b>-23,970 千円</b>	

#### ② テニスコート施設の事業収支シミュレーション

項 目	金 額	内訳及び根拠
総投資額 （テニスコート及び 西口駐車場エリア）	617,390 千円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 概算工事費 : 560,648 千円</li> <li>・ 公園設計費 : 29,640 千円</li> <li>・ 土木設計等 : 9,120 千円</li> <li>・ 付帯設備工事費 : 17,982 千円</li> </ul>
年間収入	4,997 千円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施設利用料 : 4,493 千円</li> <li>・ 衛生費（照明料） : 504 千円</li> </ul>
支出条件 （販管費+施設維持費）	7,269 千円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人件費等 : 4,523 千円</li> <li>・ 事業費（事務用品） : 150 千円</li> <li>・ 維持管理費 : 800 千円</li> <li>・ 役務費 : 46 千円</li> <li>・ 委託料 : 950 千円</li> <li>・ 水道光熱費 : 800 千円</li> </ul>
収支計	<b>-2,272 千円</b>	

③ 多目的広場（サッカー/ラグビー）施設の事業収支シミュレーション

項目	金額	内訳及び根拠
総投資額 （多目的広場及び陸上 競技場周辺エリア）	757,079 千円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・概算工事費 : 687,258 千円</li> <li>・公園設計費 : 36,530 千円</li> <li>・土木設計等 : 11,240 千円</li> <li>・付帯設備工事費 : 22,051 千円</li> </ul>
年間収入	2,627 千円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設利用料 : 1,685 千円</li> <li>・衛生費(照明料) : 942 千円</li> </ul>
支出条件 （販管費+施設維持費）	8,869 千円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人件費等 : 4,523 千円</li> <li>・事業費（事務用品）: 150 千円</li> <li>・維持管理費 : 800 千円</li> <li>・役務費 : 46 千円</li> <li>・委託料 : 950 千円</li> <li>・水道光熱費 : 2,400 千円</li> </ul>
収支計	<b>-6,242 千円</b>	

④ 総括事業収支シミュレーション

項目	金額	内訳及び根拠
総投資額	3,334,567 千円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・概算工事費 : 3,010,711 千円</li> <li>・建築設計費 : 103,483 千円</li> <li>・公園設計費 : 94,250 千円</li> <li>・土木設計等 : 29,000 千円</li> <li>・付帯設備工事費 : 97,123 千円</li> </ul>
年間収入	17,477 千円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設利用料 : 14,499 千円</li> <li>・付属施設利用料 : 931 千円</li> <li>・衛生費 : 2,047 千円</li> </ul>
支出条件 （販管費+施設維持費）	49,961 千円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人件費等 : 23,501 千円</li> <li>・事業費（事務用品）: 500 千円</li> <li>・維持管理費 : 8,000 千円</li> <li>・役務費 : 460 千円</li> <li>・委託料 : 9,500 千円</li> <li>・水道光熱費 : 8,000 千円</li> </ul>
収支計	<b>-32,484 千円</b>	

(2) 費用便益の算定

C B R			評 価	備 考
	B / C (総便益 / 総費用)		4.64	
費用の内訳			費用 (億円)	
	全体事業費	事業費	5,449	割引後
		維持管理費	233	〃
	総費用 (C)		5,683	
便益の内訳			便益 (億円)	
	1) 直接利用価値		4,552	割引後
	2) 間接利用価値		21,822	〃
	総便益 (B)		26,374	

# 資 料 編

## 1. 読谷村まちづくり基本計画及び実施計画検討委員会

### (1) 委員会設置要綱

#### 読谷村まちづくり基本計画及び実施計画検討委員会設置要綱

##### (設置)

第1条 この要綱は、第2次読谷補助飛行場跡地村民センター地区跡地利用基本計画及び読谷村スポーツコンベンション誘致促進施設整備基本計画に基づいた、トリー通信施設等周辺まちづくり構想策定支援事業を活用した読谷村まちづくり基本計画及び実施計画（以下「基本及び実施計画」という。）策定に際し、その検討機関となる読谷村まちづくり基本計画及び実施計画策定検討委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

##### (所掌事務)

第2条 委員会は、次に掲げる事項の検討を行うものとする。

- (1) 基本及び実施計画の方針に関すること。
- (2) 景観を含めた施設の整備方針及びその配置の候補地に関すること。
- (3) 前号に規定する施設に係る管理運営方針に関すること。
- (4) その他基本及び実施計画に関して必要なこと。

##### (組織)

第3条 委員会は、次の者をもって組織する。

- (1) 教育長
- (2) 教育次長、総務部長、建設整備部長、健康福祉部長、ゆたさむら推進部長、上下水道部長、総務課長、都市計画課長、土木建築課長、福祉課長、企画政策課長、商工観光課長

##### (委員長及び副委員長)

第4条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

- 2 委員長は教育長とし、副委員長は教育次長をもってあてる。
- 3 委員長は会務を総理する。副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、これを代理する。

##### (会議)

第5条 委員会の会議は、必要に応じて委員長が招集する。

- 2 委員会は、過半数の委員の出席をもって成立する。
- 3 委員会の決議は出席委員の過半数で決し、可否同数のときは委員長の決するところによる。
- 4 委員長が必要と認めるときは、関係者の出席を求め、その意見及び説明を聴くことができる。

(作業部会)

第6条 委員会の事務を調査研究し、補助するため、必要に応じて作業部会を置くことができる。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、教育委員会生涯学習課において処理する。

(委任)

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この要綱は、公布の日から施行する。

(有効期限)

- 2 この要綱は、令和4年3月31日限り、その効力を失う。

(2) 委員名簿

	役 職	氏 名
委員長	教育長	知花 優
副委員長	教育次長	安田 慶知
委員	総務部長	古堅 守
委員	建設整備部長	玉城 秀友
委員	健康福祉部長	小橋川 郁美
委員	ゆたさむら推進部長	山内 嘉親
委員	上下水道部長	新垣 和男
委員	教育総務課長	知花 正人
委員	学校指導課長	金城 広史
委員	総務課長	知花 正
委員	都市計画課長	山城 勝司
委員	土木建築課長	新垣 学
委員	福祉課長	山内 昌直
委員	企画政策課長	城間 康彦
委員	商工観光課長	富着 剛

(3) 委員会開催経過

日 程	会 議 名	内 容
令和3年 10月28日 (木)	第1回 読谷村まちづくり 基本計画及び実施計画検討 委員会	1 計画の目的と計画地の概要について 2 屋内運動場（ドーム）の配置検討について 3 村民アンケートの実施について
令和3年 12月2日 (木)	第2回 読谷村まちづくり 基本計画及び実施計画検討 委員会	1 屋内運動場（ドーム）の配置ケーススタディ のための前提条件整理について 2 屋内運動場（ドーム）の配置候補地の設定に ついて 3 各候補地の景観検討について 4 各候補地の配置ケーススタディについて 5 各候補地の比較検討について
令和4年 2月14日 (月)	第3回 読谷村まちづくり 基本計画及び実施計画検討 委員会	1 計画条件の整理について 2 確認事項（施設配置計画）について
令和4年 2月28日 (月)	第4回 読谷村まちづくり 基本計画及び実施計画検討 委員会	1 計画条件の整理について 2 施設配置計画について 3 屋内運動場（ドーム）計画について 4 読谷村まちづくり構想策定支援事業基本 計画、実施計画報告書（素案）の確認について
令和4年 3月29日 (火)	第5回 読谷村まちづくり 基本計画及び実施計画検討 委員会	1 読谷村まちづくり構想策定支援事業基本 計画、実施計画報告書（最終）の確認について

## 2. パブリックコメント

### (1) パブリックコメント実施内容

#### 1. 計画条件の整理

施設名称	運動内容	現 状	関係者ヒアリング結果	計画条件
屋内運動場 (ドーム)	野球	-	【読谷村ソフトボール協会】 ●ドームは雨天時の開会式や、ソフトボール教室で利用したい。 【少年野球読谷支部】 ●ドームで試合ができるのであれば使いたい。 ●練習で活用したい。	●野球練習の可能な広さをアリーナで確保
	トレーニング	●読谷村トレーニング室 (300㎡)	-	●トレーニング室の機能を、ドームへ移転
	屋内サッカー	-	【読谷村サッカー協会】 ●ドーム内ではフットサル希望	●フットサルコート2面のスペースをアリーナで確保
	ゲートボール (屋内外)	-	【読谷村ゲートボール協会】 ●2面あれば助かるが、4面あれば十分に大会が開催可能 【読谷村老人クラブ連合会】 ●4面とれると助かる	●ゲートボール4面分のスペースをアリーナで確保
テニスコート	テニス	●読谷村テニスコート (2面) ●残波岬テニスコート (3面)	【読谷村体育協会 (硬式テニス)】 ●大会を運営するには、8面欲しい。 ●舗装はオムニコート (軟式・硬式共有利用するため) ●ナイター設備は必須 【読谷村体育協会 (軟式テニス)】 ●8面あれば大会を誘致できる。 ●舗装はすべてオムニコート (クレーコートは管理が難しい) ●大会等の受付、倉庫、トイレのあるクラブハウス	●8面を確保 ●屋根付きベンチ及びトイレを設置
	多目的広場	●読谷村多目的広場 (1面)	【読谷村サッカー協会】 ●120m (最低 115m) × 68mのサッカー場 (周囲 5m) ●観客席、緑地帯	●120m×70mの人工芝グラウンドを確保 ●屋根付きベンチ及び倉庫を設置
	ラグビー	同上	【読谷村ラグビー協会】 ●120m×70m (周囲 5m) ●巻替えできるクラブハウス、ベンチ、スタンド、得点版	同上
冬季キャンプ	野球	●仮設の冬季室内運動場に対応 (ブルペン、室内アリー打撃)	-	●仮設のブルペンを残し、読谷村トレーニング室を冬季室内練習場として活用 ●室内アリー打撃の機能を屋内運動場 (ドーム) へ移転
駐車場	-	●中央駐車場 (約 530 台)	-	●中央駐車場 530 台、北口駐車場約 270 台、西口駐車場約 210 台 (合計 1,000 台程度を予定する)

#### 2. 施設配置計画







**読谷村まちづくり構想策定支援事業基本計画、  
実施計画策定委託業務 報告書**

令和4年3月

発行：沖縄県読谷村

〒904-0392 沖縄県読谷村字座喜味 2901 番地

電話：098-982-9200（代表）

ホームページ：<https://www.vill.yomitan.okinawa.jp/>

制作編集：読谷村教育委員会 生涯学習課 スポーツ振興係

編集協力：株式会社オオバ